

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化行政一般事務事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 001				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費							
	項	総務管理費							
	目	文化振興・国際交流費							
	事業	文化行政推進事業							
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5607					
個別計画			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度			
			根拠法令・要綱等	明石市事務分掌条例、明石市事務分掌規則					
			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
				委託	<input type="checkbox"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	文化行政の一般管理事務を円滑に行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<平成26年度> 文化行政の一般管理事務を行う。				
	<平成27年度> 文化行政の一般管理事務を行う。				
	<平成28年度> 文化行政の一般管理事務を行う。				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	844	3,720	4,564	0	0	0	4,564	正規	0.45	アルバイト	0.00
27当初予算	730	3,800	4,530	0	0	0	4,530	再任用	0.00	その他	0.10
27決算	787	3,800	4,587	0	0	0	4,587	任期付	0.10	合計	0.65
28当初予算	748	4,175	4,923	0	0	0	4,923				

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	旅費	近接地旅費	10		10	旅費	近接地旅費
需用費	事務用品、コピー用紙等	385	385	需用費	事務用品、コピー用紙等	310	
使用料及び賃借料	コピー使用料等	392	392	使用料及び賃借料	コピー使用料等	338	
	合計		787		合計		748

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-001	事務事業名	文化行政一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
文化行政の一般管理事務を効率的に執行している。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
限られた予算の中で、文化行政の一般管理事務を遂行している。引き続き、効果的な事務推進に努める。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 002			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費						
	項	総務管理費						
	目	文化振興・国際交流費						
	事業	文化行政推進事業						
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5607				
個別計画	文化芸術創生基本計画		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度		
			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
実施方法			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民が文化芸術を鑑賞し、参加、創造活動に取り組むなど、文化芸術活動が盛んになるための基盤をつくる。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<平成26年度>				
	明石文化芸術創生会議を2回開催。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。				
	<平成27年度>				
	明石文化芸術創生会議を2回開催。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。				
	<平成28年度>				
	明石文化芸術創生会議を開催予定(3回開催予定)。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。 基本計画の中間見直し。 書道パフォーマンスを実施予定。				

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	2,972	3,280	6,252	0	0	0	6,252	正規	0.40	アルバイト	0.00
27当初予算	3,883	3,690	7,573	0	0	0	7,573	再任用	0.00	その他	0.05
27決算	3,927	3,690	7,617	0	0	0	7,617	任期付	0.00	合計	0.45
28当初予算	4,597	3,375	7,972	0	0	0	7,972				

区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	講座講師等謝礼	584	報償費	指導謝礼、書道パフォーマンス出演謝礼	430	
旅費	文化芸術創生会議出張旅費	14	需用費	コピー用紙・消耗品代、書道パフォーマンス印刷費・消耗品等	327	
役務費	文化芸術創生会議等音声反訳	196	役務費	文化芸術創生会議等音声反訳、書道パフォーマンス作品加工費	322	
委託料	基本計画に基づく事業委託料	2,950	委託料	基本計画に基づく事業委託料	3,200	
使用料及び賃借料	会議室使用料	5	使用料及び賃借料	会議室使用料	21	
合計		3,927		合計		4,597

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-002	事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
明石文化芸術創生基本計画に基づく、実施計画を作成し、文化の息づくまちづくりを推進するために具体的な事業を展開している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>文化芸術創生基本計画推進事業については、明石文化芸術創生基本計画やアクションプランに基づいて実施するもので、第3者機関である明石文化芸術創生会議にて評価・検証を行っている。有効性や効率性を常に念頭に置き、「今すべき事業」「推進しなければならない事業」を精査し、スクラップアンドビルドを徹底して事業実施しており、当事業の内容は今必要と判断しているものばかりである。</p> <p>今後も、明石文化芸術創生会議からの提言を踏まえ、スクラップアンドビルドに努め、費用削減についても検討する。</p> <p>また、基本計画自体の中間見直しについても実施する。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	芸術祭等開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 003			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 46 年度
	事業	文化芸術振興事業						
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
個別計画	文化芸術創生基本計画		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
		委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民の文化芸術活動を支援することにより、市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組む機会を提供し、もって本市の文化芸術活動の一層の振興を図る。また、次世代への文化の継承や文化に触れる機会を提供する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
明石市芸術祭への参加人数	明石市芸術祭各事業の参加人数	平成28年度	人	9,500	

事業内容	<平成26年度>	
	① 市芸術祭	明石吹奏楽の夕べ、明石ステージアート2014、民謡・民舞と邦楽のつどい、いけばな展(こどもいけばな体験も合わせて開催)、音楽のつどい、茶会(親子茶道体験も合わせて開催)、美術展を開催。 明石市芸術祭への参加人数 9,149人
	② 明石現代作家展	明石市美術展審査員・実行委員による作品展を開催。
	③ 文化芸術活動を行う団体に対して、明石文化芸術創生財団を通じて、助成を行った。	
	<平成27年度>	
① 市芸術祭	明石吹奏楽の夕べ、明石ステージアート2015、邦舞・邦楽のつどい、いけばな展(こどもいけばな体験も合わせて開催)、音楽のつどい、茶会(親子茶道体験も合わせて開催)、美術展を開催。 明石市芸術祭への参加人数 9,163人	
② 明石現代作家展	明石市美術展審査員・実行委員による作品展を開催。	
③ 文化芸術活動を行う団体に対して、明石文化芸術創生財団を通じて、助成を行った。		
	<平成28年度>	
① 市芸術祭	<ul style="list-style-type: none"> ・明石吹奏楽の夕べ…………… 8月21日(日)市民会館大ホールで開催予定。 ・明石ステージアート2016…………… 10月23日(日)市民会館大ホールで開催予定。 ・茶会…………… 10月29日(土)生涯学習センターで開催予定。親子茶道体験も合わせて開催予定。 ・民謡・民舞と邦楽のつどい… 10月29日(土)生涯学習センター子午線ホールで開催予定。 ・いけばな展…………… 11月5日(土)～6日(日)生涯学習センターで開催予定。 こどもいけばな体験も合わせて開催予定。 ・音楽のつどい…………… 11月3日(木・祝)市民会館大ホールで開催予定。 ・美術展…………… 前期:11月16日(水)～20日(日)、後期:23日(水・祝)～27日(日)文化博物館で開催予定。 	
② 明石現代作家展	明石市美術展審査員・実行委員による作品展。平成29年3月8日(水)～12日(日)文化博物館で開催予定。	
③ 文化芸術活動を行う団体に対して、明石文化芸術創生財団を通じて、助成を行う予定。		

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	7,200	5,850	13,050	0	0	155	12,895	正規	0.70	アルバイト	0.00
27当初予算	7,200	5,490	12,690	0	0	200	12,490	再任用	0.00	その他	0.75
27決算	7,200	5,490	12,690	0	0	145	12,545	任期付	0.80	合計	2.25
28当初予算	7,200	9,775	16,975	0	0	150	16,825				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	明石市芸術祭等開催委託	7,200			委託料	明石市芸術祭等開催委託
	合計		7,200		合計		7,200

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-003	事務事業名	芸術祭等開催事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	明石市芸術祭への参加人数	明石市芸術祭各事業の参加人数			9,149	9,163	9,500
		平成28年度	人	9,500			
指標で表せない成果							
芸術祭をより充実させることによって市民の芸術にふれる機会をふやし、市民の生活に潤いをあたえている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×			
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>芸術祭は、各文化団体の日頃の活動の発表の場を提供するとともに参加や鑑賞することで文化意識の向上を図ることが出来る必要性が高い事業である。</p> <p>今年度は「茶会」と「民謡・民舞と邦楽のつどい」を同日に開催し、相乗効果を目指し、団体間の交流や市民へ文化芸術への参加の拡充を図っている。</p> <p>また、平成23年度から「いけばな展」については“こども体験教室”、「茶会」については“親子茶道体験”を実施。24年度から「美術展」については“ジュニアの部”を創設、「音楽のつどい」については中学校まで出演者の枠を広げるなど、こども達が日頃の成果を発表できる場を提供している。</p> <p>今後もこども達の文化芸術への参加を促進するとともに、各事業内容や予算等を精査しながら費用削減についても検討する。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	文芸祭開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 004				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 49 年度		
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
個別計画	文化芸術創生基本計画			委託	○	指定管理			

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民の文芸に対する関心と認識を深め、創作意欲の向上や創作活動へのきっかけづくりを図るとともに、文芸作品の発表の機会を提供する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	応募人数	作品の応募人数(一般・ジュニア含む)	平成28年度	人	6,500

事業内容	<平成26年度>				
	自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。また、優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。作品集、表彰式のさらなる充実を図った。 応募人数 5,592人 応募作品数 9,342点。				
	<平成27年度>				
	自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。今年度から中学生以下については、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部の3部門に増設し募集。また、優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。作品集、表彰式のさらなる充実を図った。 応募人数 6,073人 応募作品数 10,530点。				
	<平成28年度>				
	自由作品(俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門)を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成予定。引き続き中学生以下については、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部の3部門で募集。また、優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。				

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
26決算	1,920	4,570	6,490	0	0	446	6,044						
27当初予算	1,940	3,780	5,720	0	0	420	5,300	正規	0.25	アルバイト	0.00		
27決算	1,920	3,780	5,700	0	0	475	5,225	再任用	0.00	その他	0.05		
28当初予算	1,940	2,160	4,100	0	0	420	3,680	任期付	0.00	合計	0.30		

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	文芸祭開催委託	1,920		旅費	事務協議	20
					委託料	文芸祭開催委託	1,920
	合計		1,920		合計		1,940

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-004	事務事業名	文芸祭開催事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	応募人数	作品の応募人数(一般・ジュニア含む)			5,592	6,073	6,500
		平成28年度	人	6,500			
指標で表せない成果							
文芸祭の実施により、市民及び子供たちの文芸に対する関心と認識を深め文芸作品への市民の文化意識の一層の向上をはかる。日頃から創作活動に取り組んでいる市民には日頃の成果の発表の場となる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×			
現状の課題・今後の事業展開方針等						
文芸祭は“文化の息づく街づくり”の一環として文芸に対する関心を深め創作のきっかけづくりとなっている。応募人数の増加を受け、平成27年度からは中学生以下でまとめてジュニアの部として募集していたものを、小学生低学年の部、小学生高学年の部、中学生の部の3部門に増やし、応募しやすい条件に変更し、より一層子ども達の創作意欲を高め、励みとなるよう実施した。今後も子ども達の文芸活動への参加を促進するとともに、予算や実施方法をさらに精査し費用削減に努める。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	街角イベント推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 005			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 15 年度
	事業	文化芸術振興事業						
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
個別計画	文化芸術創生基本計画		実施方法	直営		補助・助成		その他
				委託	○	指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	音楽の活動をするグループや個人に発表の場を提供するとともに、市民が身近な場所で音楽に触れ親しむ機会を提供する。また、賑わいのあるまちづくりにも資する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	街角イベント参加人数	街角イベント推進事業の参加人数	平成28年度	人	5,000

事業内容	<平成26年度>	
	明石文化芸術創生財団への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」などの街角イベントを開催。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介。 ① あかしふれあいコンサート・・・毎月1回、イオン明石2番街海の広場で開催。 参加人数 約4,200人。 ② 9月14日(日)、9月15日(月・祝)まちかどミュージシャン出演のイベント「まちミュージフェスティバル」を開催。 参加人数 約600人。	
	<平成27年度>	
	明石文化芸術創生財団への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」などの街角イベントを開催。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介。 ①あかしふれあいコンサート・・・毎月1回、イオン明石2番街海の広場で開催。 参加人数 約4,000人。 ②11月22日(日)、23日(月・祝)まちかどミュージシャン出演のイベント「まちミュージフェスティバル」を開催。 参加人数 約800人。	
	<平成28年度>	
	明石文化芸術創生財団への委託により事業を実施。 市民に身近な場所で音楽の鑑賞機会を提供する「あかしふれあいコンサート」などの街角イベントを開催予定。 また、地域のまつりやイベントなどへ「まちかどミュージシャン登録紹介制度」に登録した者を紹介予定。 ①あかしふれあいコンサート・・・毎月1回、イオン明石2番街海の広場で開催予定。 ②まちかどミュージシャン出演のイベントを開催予定。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	820	2,050	2,870	0	0	0	2,870	正規	0.25	ｱｲﾊﾞｲﾄ	0.00
27当初予算	820	1,360	2,180	0	0	0	2,180	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	820	1,360	2,180	0	0	0	2,180	任期付	0.00	合計	0.25
28当初予算	820	2,025	2,845	0	0	0	2,845				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
	委託料	街角イベント推進事業委託	820		委託料	街角イベント推進事業委託	820	
	合計		820		合計		820	

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-005	事務事業名	街角イベント推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	街角イベント参加人数	街角イベント推進事業の参加人数			4,200	4,000	5,000
		平成28年度	人	5,000			
指標で表せない成果							
ホール施設以外のまちかど等で市民が気軽に音楽に触れ親しむ機会を提供できている。また、芸術活動を行おうとする市民に発表の場を提供している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>街角イベントの経費は、「あかしふれあいコンサート」にかかる費用が大半を占める。</p> <p>「あかしふれあいコンサート」等の街角イベントは、市民生活に密着した場所で市民が気軽に文化芸術に出会い関わることのできる機会を提供し、賑わいのあるまちづくりにも貢献している。「あかしふれあいコンサート」の出演者は、市内の中学・高校の吹奏楽部が中心で、子どもたちが日頃の練習成果を発表する貴重な機会ともなっている。</p> <p>今後も、事業の適正な実施に努めていく。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演			新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 006		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
	2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
個別計画	文化芸術創生基本計画								

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進し、市民に質の高い音楽の鑑賞機会を提供する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	公演鑑賞者数	公演の鑑賞者数	平成28年度	人	1,200

事業内容	<平成26年度>				
	世界的に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演を開催。あわせて、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。4月28日(月)市民会館大ホールで公演。同日に松が丘小学校で特別授業を実施。				
	<平成27年度>				
	世界的に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演を開催。あわせて、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施予定。9月16日(水)市民会館大ホールで公演。同日に明石小学校で特別授業を実施。				
	<平成28年度>				
	世界的に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演を開催予定。あわせて、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校等を訪問し音楽指導を実施予定。9月21日(水)市民会館大ホールで公演予定。同日に明石養護学校で特別授業を実施予定。				

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	5,375	2,180	7,555	0	0	3,930	3,625				
27当初予算	6,795	2,590	9,385	0	0	3,292	6,093	正規	0.25	アルバイト	0.00
27決算	6,634	2,590	9,224	0	0	3,524	5,700	再任用	0.00	その他	0.00
28当初予算	8,266	2,025	10,291	0	0	4,070	6,221	任期付	0.00	合計	0.25

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	チラシ・ポスターデザイン謝礼	18		報償費	託児謝礼	11
需用費	チラシ・ポスター等印刷代、出演者ケータリング	131	需用費	公演パンフレット印刷代、出演者ケータリング	221		
役務費	チケット販売手数料、舞台人件費	506	役務費	舞台人件費、チケット販売手数料	639		
委託料	出演料、警備委託料	5,610	委託料	出演料、警備委託料	6,922		
使用料及び賃借料	会場使用料、著作権使用料	369	使用料及び賃借料	会場使用料、付属設備使用料、空調使用料	473		
	合計		6,634		合計		8,266

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-006	事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演		
------	----------------	-------	------------------------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	公演鑑賞者数	公演の鑑賞者数			1,268	1,148	1,200
		平成28年度	人	1200			
指標で表せない成果							
佐渡裕氏が小学校等で子どもたちへ音楽指導を行うことで、音楽の楽しさや素晴らしさを感じてもらい、音楽文化のすそ野拡大、次世代育成に繋がっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>世界的に有名な佐渡裕氏指揮による公演は、市民にとって質の高い文化芸術に触れ親しむ機会を提供する貴重な事業である。</p> <p>また、佐渡氏による子ども達への音楽指導は、音楽の楽しさや素晴らしさを感じてもらい、音楽文化のすそ野を拡大し、次世代を担う子ども達の育成につながっている。</p> <p>今後も引き続き誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図りつつ、費用削減についても検討していく。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名		財団支援事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 007			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607					
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度			
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法	直営		補助・助成	○	その他	
		2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
個別計画		文化芸術創生基本計画								
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）									
	文化の息づくまちづくりを推進するため、市の文化芸術全般にわたる業務を担う明石文化芸術創生財団に対して支援を行う。									
	成果指標									
	指標名		考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値		
事業内容	<平成26年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。									
	<平成27年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。									
	<平成28年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	19,888	2,460	22,348	0	0	0	22,348				
27当初予算	25,398	1,770	27,168	0	0	0	27,168	正規	0.25	アルバイト	0.00
27決算	25,398	1,770	27,168	0	0	0	27,168	再任用	0.00	その他	0.00
28当初予算	26,028	2,025	28,053	0	0	0	28,053	任期付	0.00	合計	0.25

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
		委託料	中間支援組織活動委託		343		委託料
	負担金補助及び交付金	財団運営補助金	25,055		負担金補助及び交付金	財団運営補助金	25,685
	合計		25,398		合計		26,028

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-007	事務事業名	財団支援事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
明石文化芸術創生財団が、中間支援組織としての役割を果たすことで、市民全体の文化芸術振興の基盤作りを行い、「文化の息づくまちあかし」の実現に向けた貢献を行っている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
明石文化芸術創生基本計画においては、重点施策として「コーディネート機能を持つ中間支援組織の設置」を掲げている。 明石文化芸術創生財団が、中間支援組織としての役割を果たすことで、市民全体の文化芸術振興の基盤づくりを行い、「文化の息づくまちあかし」の実現に資する効果は高いと認められる。 今後は、財団が行う事業について協議を深め、財団が中間支援組織としての機能を十分に果たすとともに、市の文化芸術振興事業の主体となるよう支援を継続していく。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民交響楽団支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 008		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課		
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営	補助・助成	○ その他	
個別計画	文化芸術創生基本計画			委託	指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	音楽文化のすそ野の拡大と質の向上を図るため、市民力を活用したアマチュアの市民管弦楽団の運営に対する支援を行い、「音楽のあふれるまちづくり」を一層推進する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	アウトリーチ活動の回数	定期演奏会のほかに市民にどれだけ鑑賞の機会を提供できているか。	平成28年度	回	15

事業内容	<平成26年度>				
	4月29日(火) 指揮体験ワークショップ発表演奏会を西部市民会館ホールで開催。 6月22日(日) 「たこフィル倶楽部」会員対象「ありがとうコンサート」を市民ホールで開催。 7月13日(日) 第8回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 9月21日(日) 第16回定期演奏会市民会館大ホールで開催。 12月23日(火・祝) クリスマスコンサートを市民会館大ホールで開催。 2月8日(日) 第9回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催。 3月22日(日) 第17回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動10回。				
	<平成27年度>				
	6月21日(日) 「たこフィル倶楽部」会員対象「ありがとうコンサート」を開催。 7月12日(日) 第10回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 9月20日(日) 第18回定期演奏会市民会館大ホールで開催。 2月14日(日) 第11回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催。 3月20日(日) 第19回定期演奏会を市民会館大ホールで開催。 ・アウトリーチ活動9回。				
	<平成28年度>				
	5月22日(日) 指揮体験ワークショップ発表演奏会を神戸学院大学メモリアルホールで開催。 7月10日(日) 「たこフィル倶楽部」会員対象「ありがとうコンサート」を市民ホールで開催。 7月31日(日) 第12回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラサマーコンサートを西部市民会館ホールで開催。 9月19日(月・祝) 第20回定期演奏会市民会館大ホールで開催予定。 12月11日(日) クリスマスコンサートを市民会館大ホールで開催予定。 2月12日(日) 第13回明石フィルハーモニー・ジュニア・オーケストラウインターコンサートをイオン明石海の広場で開催予定。 3月26日(日) 第21回定期演奏会を市民会館大ホールで開催予定。 ・アウトリーチ活動を実施予定。				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	2,700	820	3,520	0	0	0	3,520	正規	0.20	アルバイト	0.00
27当初予算	2,400	1,640	4,040	0	0	0	4,040	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	2,400	1,640	4,040	0	0	0	4,040	任期付	0.00	合計	0.20
28当初予算	2,100	1,620	3,720	0	0	0	3,720				

区分(節)	内容	金額	27年度 当初 予算	28年度 当初 予算	27年度 決算	28年度 決算	27年度 決算	28年度 決算	28年度人員配置(人)		
									正規	アルバイト	その他
負担金補助及び交付金	運営補助	2,400							0.20	0.00	0.00
合計		2,400							0.20	0.00	0.00

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-008	事務事業名	市民交響楽団支援事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	アウトリーチ活動の回数	定期演奏会のほかに市民にどれだけ鑑賞の機会を提供できているか。			10	9	15
		平成28年度	回	15			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×		×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>「音楽のあふれるまちづくり」推進のため、市民交響楽団はシンボリック的存在となっており、音楽文化のすそ野の拡大や市民の芸術鑑賞機会の拡充にも貢献している。</p> <p>市民交響楽団の事務局を担っていた明石文化芸術創生財団と運営のあり方について協議し、平成27年度から「明石フィルハーモニー協会」を設立。市民交響楽団が自主運営していく体制に移行。</p> <p>これまでも市補助金を段階的に削減しているが、今後も費用削減について検討していく。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石将棋フェスティバル開催事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 009		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	文化振興・国際交流費					
	事業	文化芸術振興事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5607			
個別計画	文化芸術創生基本計画		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 17 年度	
			根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
実施方法			直営	<input type="radio"/>	補助・助成		
			委託	<input type="radio"/>	指定管理		その他

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民に対し、伝統文化である将棋に親しむとともに、豊かな人間性を身につける機会を提供する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	明石市長杯青少年将棋大会の参加人数	明石市長杯青少年将棋大会の参加人数	平成28年度	人	160

事業内容	<平成26年度>			
	青少年将棋大会、プロ棋士による指導対局については、明石文化芸術創生財団が実施。(参加費有料) ホールプログラムは明石文化芸術創生財団に委託して開催。(参加費無料) 2月14日(土) 小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会を生涯学習センターで開催。 参加人数 104人 2月15日(日) プロ棋士による指導対局。ホールプログラムとして明石市長杯青少年将棋大会有段者クラス優勝者の表彰と女流棋士との記念対局、女流ペア将棋選手権を開催。			
	<平成27年度>			
	2月28日(日) 小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会、全年齢を対象とする女流棋士による指導対局、女流棋士トークショー、将棋で遊ぼう！～将棋を使った昔懐かしいゲーム～を産業交流センターで明石文化芸術創生財団に委託し開催。(参加費一部有料) 大会参加人数 112人			
	<平成28年度>			
	2月5日(日) 青少年将棋大会、プロ棋士による指導対局等を産業交流センターで開催予定。(参加費一部有料)			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	450	2,270	2,720	0	0	0	2,720				
27当初予算	600	3,130	3,730	0	0	0	3,730	正規	0.20	アルバイト	0.00
27決算	600	3,130	3,730	0	0	0	3,730	再任用	0.00	その他	0.05
28当初予算	600	1,755	2,355	0	0	0	2,355	任期付	0.00	合計	0.25

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	将棋フェスティバル開催委託	600			委託料	将棋フェスティバル開催委託
	合計		600		合計		600

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-009	事務事業名	明石将棋フェスティバル開催事業
------	----------------	-------	-----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	明石市長杯青少年将棋大会の参加人数	明石市長杯青少年将棋大会の参加人数			104	112	160
		平成28年度	人	160			
指標で表せない成果							
将棋を通じ、社会の基本的なルールや思いやり、礼儀を学ぶとともに伝統文化に触れる機会を提供している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×				
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>将棋フェスティバルは、次代を担う子ども達の育成に役立つ有意義な事業であり、平成23年には現役高校生のプロ棋士が明石市に誕生し、市民の関心も高まっている。</p> <p>平成25年度からは、「青少年将棋大会」「プロ棋士による指導対局」について、参加費を徴収して開催するなど予算削減を図っているが、今後は子ども達の育成だけでなく、より一層将棋の普及につながるよう内容を精査し、費用削減にも努める。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	明石薪能開催事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 010					
				分割/統合								
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容							
	款	総務費										
	項	総務管理費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課						
	目	文化振興・国際交流費			連絡先	(078)918-5607						
	事業	文化芸術振興事業			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 1 年度				
施策分野		2 教育・文化分野			根拠法令・要綱等		文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
個別計画		2-4 文化芸術の振興										
個別計画		文化芸術創生基本計画			実施方法		直営	○	補助・助成	○	その他	
					委託		指定管理					

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）										
	伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供することにより伝統文化に親しむ機会の拡充を図る。										
	成果指標										
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値			
	入場券の販売枚数	入場券の販売枚数				平成28年度	枚	850			

事業内容	＜平成26年度＞										
	10月4日（土）第17回明石薪能を明石公園で開催。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表。（参加者18名） 入場券販売枚数 815枚 入場者数 約1,200人										
	＜平成27年度＞										
	10月4日（日）第18回明石薪能を明石公園で開催。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表。（参加者21名） 入場券販売枚数 718枚 入場者数 約1,100人										
＜平成28年度＞											
9月10日（土）第19回明石薪能を明石公園で開催予定。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表する。											

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	5,000	3,630	8,630	0	0	0	8,630				
27当初予算	3,000	4,080	7,080	0	0	0	7,080	正規	0.40	アルバイト	0.00
27決算	3,000	4,080	7,080	0	0	0	7,080	再任用	0.00	その他	0.00
28当初予算	3,000	3,500	6,500	0	0	0	6,500	任期付	0.10	合計	0.50

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額	
		負担金補助及び交付金	3,000			負担金補助及び交付金	明石薪能開催事業補助金	3,000
		合計			3,000		合計	

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-010	事務事業名	明石薪能開催事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	入場券の販売枚数	入場券の販売枚数			815	718	850
		平成28年度	枚	850			
指標で表せない成果							
伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供できている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×		×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
優れた伝統芸能を守り、次代へと継承していくことは、市の重要な責務であると認識している。しかし、明石公園にて組立式能舞台を用いて薪能を開催するにあたっては、毎回組立・撤去に多額の経費を必要とし、費用対効果を考えると効果的な事業運営が行えているとはいえないと考えている。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	子ども・親子対象芸術鑑賞事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 011			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607		
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 24 年度
	事業	文化芸術振興事業						
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
個別計画	文化芸術創生基本計画			実施方法	直営	補助・助成	その他	
					委託	○ 指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	次代を担う子どもたちに芸術鑑賞の機会を提供するとともに、芸術に触れる機会の少ない乳幼児を抱える子育て世代の鑑賞機会の拡充を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	鑑賞会入場者数	鑑賞会の入場者数	平成28年度	人	400

事業内容	<平成26年度>				
	妊婦、0歳から1歳の乳児と母親が参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を2回開催。 平成26年9月11日 西部市民会館ホール 入場者数 63組 166名 平成26年9月23日 生涯学習センター子午線ホール 入場者数 90組 216名				
	<平成27年度>				
	妊婦、0歳から1歳の乳児と母親が参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を4回開催。 平成27年7月4日 西部市民会館ホール 入場者数 92組 267名 平成27年7月11日 生涯学習センター子午線ホール 入場者数 77組 215名 平成28年2月20日 西部市民会館ホール 入場者数 71組 192名 平成28年2月27日 生涯学習センター子午線ホール 入場者数 76組 210名				
	<平成28年度>				
	妊婦、0歳から1歳の乳児と母親が参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を明石文化芸術創生財団に委託し2回開催。 平成28年5月28日 生涯学習センター子午線ホール 入場者数 170名 平成28年7月9日 西部市民会館ホール 入場者数 232名				

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	613	2,680	3,293	0	0	0	3,293	正規	0.05	アルバイト	0.00
27当初予算	1,158	2,160	3,318	0	0	0	3,318	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	724	2,160	2,884	0	0	0	2,884	任期付	0.00	合計	0.05
28当初予算	500	405	905	0	0	0	905				

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	出演者謝礼	390		委託料	Baby Meets Music あかし開催委託	500
	役務費	舞台人件費、調律費用	80				
	使用料及び賃借料	会場使用料、著作権使用料	254				
合計			724	合計			500

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-011	事務事業名	子ども・親子対象芸術鑑賞事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	鑑賞会入場者数	鑑賞会の入場者数			382	884	400
		平成28年度	人	400			
指標で表せない成果							
普段、芸術鑑賞の機会が乏しい子育て世代の方を対象に子どもとともに参加できる鑑賞会を開催し誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図れる。 乳児とともに鑑賞するクラシック音楽会(BMM)では、「赤ちゃんが泣いても、周りや演奏者に遠慮せずに音楽を鑑賞できた」と大変好評を得た。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
				×		
現状の課題・今後の事業展開方針等						
「Baby Meets Musicあかし」は、赤ちゃんと一緒に育児中の両親が文化芸術に触れる機会を提供する事業である。 今年度から事業実施方法を見直し、開催回数を減らすとともに明石文化芸術創生財団に委託し、費用の削減を図った。 今後も、芸術鑑賞の機会が乏しい子育て世代の方を対象に、子どもとともに参加できる鑑賞会を開催し、誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図りつつ、費用削減についても検討していく。						

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-012	事務事業名	短編動画コンテスト開催事業		
------	----------------	-------	---------------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	作品応募点数	作品の応募点数					50
		平成28年度	本	50			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
初年度の反省点を活かし、事業に改善を加えながら、年次的に発展させ、平成31年度の応募点数100本を目指す。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	姉妹都市交流推進事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 013				
				分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容						
	款	総務費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5608					
	目	文化振興・国際交流費			自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度			
	事業	姉妹都市交流事業			根拠法令・要綱等		姉妹都市提携				
施策分野		4 生活・環境分野			実施方法		直営	○	補助・助成		
		4-6 都市間交流・国際交流の推進					委託	○	指定管理		
個別計画											

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）									
	市民、アメリカ合衆国バレホ市民 市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、バレホ市と必要な連絡調整を行う。									
	成果指標									
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値		

事業内容	<p><平成26年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。 <p><平成27年度></p> <ul style="list-style-type: none"> バレホ市親善交流団が明石市を訪問。 人数:4人(バレホ市長を含む) 期間:平成27年9月4日～7日(4日間) <p><平成28年度></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。 									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	151	2,050	2,201	0	0	0	2,201	正規	0.35	アルバイト	0.00
27当初予算	141	2,870	3,011	0	0	0	3,011	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	214	2,870	3,084	0	0	0	3,084	任期付	0.00	合計	0.35
28当初予算	141	2,835	2,976	0	0	0	2,976				

区分(節)	内容	金額		28年度当初予算事業費明細		区分(節)	内容	金額
	役務費	14		役務費	101			
	委託料	190						
	合計	214		合計	141			

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-013	事務事業名	姉妹都市交流推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
バレホ市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>姉妹都市交流事業は、これまで約48年間にわたり明石市と米国バレホ市の市民による交流を主体として実施してきた実績がある。バレホ市へ市内中高生を派遣し現地でのホームステイ体験や異文化交流など、子どもたちに国際感覚を身に着ける機会を提供できるのも、明石市とバレホ市が姉妹都市提携を結んでいることの成果と言える。</p> <p>平成30年度に迎える姉妹都市提携50周年記念事業の内容等について、バレホ市と調整し、実施に向けた準備を行う。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	友好都市交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 014	
			分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	目	文化振興・国際交流費	連絡先	(078)918-5608			
	事業	友好都市交流事業	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
施策分野		4 生活・環境分野	根拠法令・要綱等		友好都市提携		
個別計画		4-6 都市間交流・国際交流の推進					
			実施方法	直営	○	補助・助成	その他
			委託	○	指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民、中国無錫市民 友好都市無錫市との継続的な市民間交流や両市公式団による相互訪問などを通じて両市の相互理解と友好、親善を深める。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<平成26年度> ・明石市友好訪中団（無錫市国際友好都市交流会参加） 人数:2人 期間:平成26年10月20日～21日（2日間） ・無錫市江南中学校吹奏楽交流団 人数:中学生62人、引率教師、通訳 計73人 期間:平成26年8月21日～26日（6日間） ・無錫市友好交流団 人数:6人 期間:平成26年4月14日～16日（3日間） ・無錫市研修生 人数:3人 期間:平成27年1月17日～2月3日（18日間）			
	<平成27年度> ・明石市友好訪中団 人数:2人 期間:平成27年7月28日～30日（3日間） ・無錫市友好交流団 人数:7人 期間:平成27年8月17日～18日（2日間） ・無錫市研修生 人数:3人 期間:平成28年1月14日～31日（18日間） ・明石市青少年ジャズダンス交流団 人数:中高生21人、引率者（通訳、看護師ほか） 計29人 期間:平成27年7月28日～8月1日（5日間） ・友好都市提携35周年事業事前協議団 人数:2人、期間:平成27年11月10日～14日（5日）			
<平成28年度> ※友好都市提携35周年 ・友好都市提携35周年記念式典・祝賀会（明石市） 実施日:平成28年5月10日 ・無錫市友好交流団 人数:9人 期間:平成28年5月10日（1日間） ・明石市青少年選抜吹奏楽訪中団 人数:中高生60名、引率者（教諭、看護師、通訳ほか） 計70名 期間:平成28年8月15日～19日（5日間） ・友好都市提携35周年記念式典・祝賀会（無錫市） 実施日:平成28年8月29日 ・明石市友好訪中団 人数:3人 期間:平成28年8月28日～31日（4日間） ・無錫市青少年交流団 人数、時期未定 ・無錫市研修生 人数、時期未定				

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	3,212	13,530	16,742	0	0	0	16,742				
27当初予算	5,939	9,020	14,959	0	0	0	14,959	正規	1.10	ｱﾙﾊﾞｲﾄﾞ	0.00
27決算	4,488	9,020	13,508	0	0	0	13,508	再任用	0.00	その他	0.00
28当初予算	19,042	8,910	27,952	0	0	0	27,952	任期付	0.00	合計	1.10

区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
報償費	通訳謝礼	465		報償費	通訳謝礼	850
旅費	訪中旅費	1,049		旅費	訪中旅費	1,792
需用費	消耗品等	479		需用費	消耗品等	800
委託料	受入・派遣事業等委託	2,109		委託料	受入・派遣事業等委託	12,000
その他	文書翻訳料、ホテル使用料	386		負担金補助及び交付金	派遣団補助金	3,000
				その他	文書翻訳料、ホテル使用料	600
合計		4,488		合計		19,042

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-014	事務事業名	友好都市交流推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
無錫市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>友好都市・中国無錫市とは、これまで35年間にわたり文化・スポーツによる市民間交流をしてきた実績がある。今後さらなる市民間交流を進めるためにも、明石市と中国無錫市の友好交流が必要不可欠なものとなっている。</p> <p>今後も、無錫市との行政間交流及び市民間交流を推進する。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	国際交流推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 015				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5608			
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 18 年度	
	事業	国際交流事業							
施策分野	4 生活・環境分野		根拠法令・要綱等	明石市国際交流協会設立					
	4-6 都市間交流・国際交流の推進			実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他
個別計画			委託		○	指定管理			

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民（在住外国人を含む）市民の国際理解を深め、多文化共生・地域国際化を推進する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	国際交流協会会員数	国際交流についての市民への啓発が進み、国際交流に関する理解や重要性の認識が深まることにより、国際交流協会の会員数が増える。	平成28年度	人	680
日本語学習会「いろはクラブ」開催件数	多文化共生社会が進むにつれて、国際交流協会の基幹事業である日本語学習会「いろはクラブ」をはじめとするボランティアの活動が活発になる。	平成28年度	回	1500	

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・広く市民に国際交流について普及啓蒙するとともに、幅広い国際交流を推進する。 ・国際交流促進事業（主な内容は下記①～③）を明石市国際交流協会へ委託し、多文化共生・地域国際化を進める。 ①国際交流・協力啓蒙事業（国際交流ボランティアの募集・育成 など） ②多文化共生事業（国際理解講演会、小中学校へのゲストティーチャーの派遣、日本語学習会「いろはクラブ」の開催 など） ③国際交流活動助成事業（最大5万円を市民団体に助成） 	
	<平成26年度>（3月31日現在） ①会員数700人、ボランティア登録人数延べ192人 ②ゲストティーチャー派遣、通訳・翻訳ボランティア登録者64人 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1164回 ③国際交流活動助成 2件	
	<平成27年度>（3月31日現在） ①会員数664人、ボランティア登録人数延べ171人 ②ゲストティーチャー派遣、通訳・翻訳ボランティア登録者数60人 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1459回 ③国際交流活動助成 2件	
	<平成28年度>（年度末見込み） ①会員数680人、ボランティア登録人数延べ200人 ②ゲストティーチャー派遣、通訳・翻訳ボランティア登録者70人 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1500回 ③国際交流活動助成 3件	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	8,921	8,200	17,121	0	0	0	17,121	正規	0.65	アルバイト	0.00
27当初予算	8,984	5,330	14,314	0	0	0	14,314	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	8,711	5,330	14,041	0	0	0	14,041	任期付	0.00	合計	0.65
28当初予算	9,450	5,265	14,715	0	0	0	14,715				

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	0		28年度当初予算事業費明細	報償費	通訳謝礼
旅費	出張旅費	14	28年度当初予算事業費明細	旅費	出張旅費	114	
需用費	消耗品等	72	28年度当初予算事業費明細	需用費	消耗品等	90	
委託料	国際交流促進事業委託	750	28年度当初予算事業費明細	委託料	国際交流促進事業委託	1,137	
負担金補助及び交付金	国際交流協会運営補助	7,850	28年度当初予算事業費明細	負担金補助及び交付金	国際交流協会運営補助	7,961	
その他		25	28年度当初予算事業費明細	その他		108	
合計			8,711	合計			9,450

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-015	事務事業名	国際交流推進事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	国際交流協会会員数	国際交流についての市民への啓発が進み、国際交流に関する理解や重要性の認識が深まることにより、国際交流協会の会員数が増える。			700人	664人	680人
		平成28年度	人	680			
	日本語学習会「いろはクラブ」開催件数	多文化共生社会が進むにつれて、国際交流協会の基幹事業である日本語学習会「いろはクラブ」をはじめとするボランティアの活動が活発になる。			1164回	1459回	1500回
		平成28年度	回	1500			
指標で表せない成果							
市民の国際交流に対する理解を深めることで、地球上には様々な国や地域、民族があり、多様な考え方を持つ人々がそれぞれの価値観に基づいて暮らしていることを理解し、お互いに尊重していこうという多文化共生社会の考え方が普及している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×	×				
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>国際交流推進事業は、明石市国際交流協会に市内在住外国人への日本語学習会や国際交流ボランティアの育成等を事業委託し、多文化共生社会づくりや地域の国際化を推進している。言葉や生活習慣の違いから地域になじみにくいと感じている外国人をサポートし、地域での暮らしを支えており、地域の安全・安心にもつながっている。</p> <p>同協会は設立から9年が経過し、設立当初から展開してきた多文化共生事業に加え、諸外国との市民間交流を推進するため国際交流事業を実施しており、市としては今後も同協会と協働で国際交流を推進する。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名 諸外国との交流事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 016				
		分割/統合							
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5608					
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 19 年度			
	事業	国際交流事業	根拠法令 ・要綱等						
施策分野		4 生活・環境分野		実施方法					
		4-6 都市間交流・国際交流の推進							
個別計画				直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
				委託	<input type="radio"/>	指定管理			
事業 の 目的 ・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）								
	市民 姉妹都市・友好都市提携先以外の諸外国との国際交流を推進し、市民の国際理解を深める。								
	成果指標								
指標名		考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値		
事業 内容	<平成26年度> ・諸外国からの訪問団の受入 <平成27年度> ・諸外国からの訪問団の受入 <平成28年度> ・諸外国からの訪問団の受入								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
26決算	179	2,870	3,049	0	0	0	3,049						
27当初予算	440	1,230	1,670	0	0	0	1,670	正規	0.15	アルバイト	0.00		
27決算	0	1,230	1,230	0	0	0	1,230	再任用	0.00	その他	0.00		
28当初予算	440	1,215	1,655	0	0	0	1,655	任期付	0.00	合計	0.15		

27年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	28年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	0		報償費	通訳謝礼	110
需用費	消耗品等	0	需用費	消耗品等	110		
委託料	受入事業委託	0	委託料	受入事業委託	200		
使用料及び賃借料	施設使用料	0	使用料及び賃借料	施設使用料	20		
合計			0	合計			440

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-016	事務事業名	諸外国との交流事業
------	----------------	-------	-----------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
諸外国との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解が深まっている。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
諸外国との交流事業費については、明石市に来られる外国からの賓客を歓迎する際に必要な経費であり、賓客の対応をするのは市として大切な仕事であるため、今後も事業を継続実施する。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化博物館運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 017			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607		
	目	文化博物館費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 3 年度
	事業	文化博物館運営事業						
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則					
個別計画	文化芸術創生基本計画		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="radio"/>	

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・保管、調査・研究、展示等を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として、明石市立文化博物館の円滑な運営及び管理を行う。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
展覧会観覧者数	質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	平成28年度	人	95,000

事業の目的のために、展覧会、貸館業務、施設維持管理業務、その他の業務を行う。平成28年度からは調査・研究及びそれに伴う企画展の企画立案等は市が直接行い、特別展の実施を含むその他の管理運営業務（施設運営・管理、貸館、広報等）は指定管理者が行う「業務分割方式による指定管理者制度」を導入する。

①展覧会の実施
 指定管理者が実施 平成26年度 特別展2回、特別企画展1回、企画展4回 観覧者数95,638人
 指定管理者が実施 平成27年度 特別展2回、特別企画展1回、企画展4回 観覧者数53,220人
 市及び指定管理者が実施 平成28年度計画 特別展3回、企画展4回 観覧者数95,000人

②指定管理者による貸館事業
 平成26年度 ギャラリー（28件、稼働率81.7%、利用者数26,195人）、会議室（57件、稼働率58.7%、利用者数4,315人）
 平成27年度 ギャラリー（25件、稼働率89.7%、利用者数27,909人）、会議室（42件、稼働率64.2%、利用者数4,383人）
 ※ 平成28年度からも指定管理者が実施する。

③指定管理者による施設維持管理業務の実施
 平成26年度 修繕40件 平成27年度 修繕38件
 ※ 平成28年度からも指定管理者が実施する。

④博物館資料の整備
 指定管理者が実施 資料購入数 平成26年度 2件 平成27年度 2件
 指定管理者が実施 寄贈資料の受け入れ 平成26年度 9件 平成27年度 14件
 ※ 平成28年度からは資料の調査や方針決定等は市が実施する。

⑤学校観覧（小・中・特別支援学校）の対応
 指定管理者が実施 平成26年度 101校 平成27年度 83校
 ※ 平成28年度からは市及び指定管理者が実施する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	161,090	11,480	172,570	0	0	1,168	171,402	正規	2.50	アルバイト	0.00
27当初予算	165,765	14,480	180,245	0	0	1,068	179,177	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	165,102	14,480	179,582	0	0	1,152	178,430	任期付	4.00	合計	6.50
28当初予算	141,288	30,650	171,938	0	0	1,082	170,856				

区分（節）	内容	金額		区分（節）	内容	金額
報償費	選定委員会委員謝礼等	105		旅費	博物館学芸員等調査・研修等旅費	150
需用費	さかなクニイラスト展チラシ製作代等	178		需用費	事務用品等	210
役務費	さかなクニイラスト展荷物運搬費等	131		役務費	電話料金等	298
委託料	指定管理料、さかなクニイラスト展開催等委託料	164,394		委託料	指定管理料	140,500
使用料及び賃借料	さかなクニイラスト展等会場使用料	294		使用料及び賃借料	コピー使用料	130
合計		165,102		合計		141,288

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-017	事務事業名	文化博物館運営事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	展覧会観覧者数	質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。			95,638	53,220	95,000
		平成28年度	人	95,000			
指標で表せない成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・明石の歴史や明石にゆかりのある作家の展覧会を実施することにより、郷土への理解を深めることに貢献している。また、貸館として市民の文化芸術の交流、発表の場となっている。 ・学校観覧では、実物に触れることで、児童・生徒が学習の理解を深め、新たな興味を抱く場として利用されている。 ・公募で登録された博物館ボランティアによる十二単の着付け体験や機織り体験などの活動により、来館者の満足度の向上、世代間の交流、ボランティアの自己実現など、幅広い成果を創出している。 							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>明石の歴史・文化の調査研究について、市が直接担うことで継続性を担保し、大規模な展覧会、施設の運営、維持管理といった部分は民間のノウハウを活用してより効果的な管理運営を行う業務分割方式の指定管理者制度を平成28年度から導入している。また、指定管理者に対する指導監督体制の見直しを併せて行うことで、経費の縮減も図る。</p> <p>様々な年齢層の市民に対し、質の高い文化芸術に触れ親しむ機会を提供するため、今後も指定管理者のノウハウを活用した展覧会を開催する。また、利用料金収入の一定割合を施設の改善等に充てさせる制度を導入し、利用者への還元を図る。</p> <p>また、博物館内に止まらず、他施設との連携や館外での活動を積極的に行っていく。ボランティアとも更に協力を深め、市民と共に創る博物館を目指す。</p> <p>大会議室については、博物館の事業スペースとしては必須のものであることも踏まえながら、簡易ギャラリーとしての利用などに取り組む。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化博物館施設整備事業		新規/継続	新規事業	整理番号	0130001000 - 018		
				分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607				
	目	文化博物館費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 3 年度		
	事業	文化博物館施設整備事業		根拠法令・要綱等	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則				
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		2-4 文化芸術の振興			委託		指定管理		
個別計画		文化芸術創生基本計画							
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）								
	明石市立文化博物館の破損、劣化した施設・設備の改修、更新を行い、施設・設備の安全で効率的な運用を図る。								
	成果指標								
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値		
事業内容	<平成26年度の実績> ①高圧ケーブル更新工事 高圧ケーブルが関西電気保安協会の定期点検で経年劣化により不適合と判定されており、漏電や停電による波及事故を防止するため更新工事を施工した。 工事請負費 3,510千円 負担金 108千円								
	<平成28年度の実施予定> ①直流電源装置蓄電池及び整流器の更新 直流電源装置蓄電池及び整流器が経年劣化により機能しなくなったとき、非常灯の点灯ができず非常時の避難活動に支障を起す恐れがある。また、非常時(停電時)に大電流が流れた場合、蓄電池腐食部分の発熱により引火爆発の危険性があるため更新する。 需用費(修繕料) 7,000千円								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	3,618		3,618	0	0	0	3,618				
27当初予算	0		0	0	0	0	0	正規	0.10	アルバイト	0.00
27決算	0		0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
28当初予算	7,000	810	7,810	0	7,000	0	810	任期付	0.00	合計	0.10
27年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額		28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額	
							需用費	直流電源装置蓄電池及び整流器の更新		7,000	
	合計		0			合計		7,000			

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-018	事務事業名	文化博物館施設整備事業
------	----------------	-------	-------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
指定管理者では対応できない大規模な修繕について市で対応を行い、施設の長寿命化、安心・安全の確保を行っている。							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
施設の老朽化に伴い、大規模な修繕を要する箇所は増加している。実施方法を検討し、優先順位を付けた上で、年次的に対応を行っていく。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	市民会館運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 019				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5607			
	目	市民会館費				自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度
	事業	市民会館運営事業							
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		根拠法令・要綱等	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市民ホール条例・同条例施行規則					
個別計画	文化芸術創生基本計画			実施方法	直営	○	補助・助成		その他
					委託		指定管理	○	

事業の目的 目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、市民ニーズに沿った古典から現代に至る多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
4施設の利用者数	芸術・文化の発表の場としての指標として設定する。	平成28年度	人	349,000
自主事業の入場者数	市民ニーズに沿った多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	平成28年度	人	35,000

事業の目的のために、貸館業務、自主事業、施設維持管理業務、その他の業務を行う。

①指定管理者による貸館事業の実施
 平成26年度 市民会館(1,999件、稼働率51.8%、利用者数218,778人)
 西部市民会館(541件、稼働率42.8%、利用者数59,487人)
 中崎公会堂(1,005件、稼働率59.3%、利用者数21,960人)
 市民ホール(474件、稼働率57.8%、利用者数30,394人)
 平成27年度 市民会館(2,076件、稼働率49.1%、利用者数227,608人)
 西部市民会館(527件、稼働率41.7%、利用者数60,660人)
 中崎公会堂(1,148件、稼働率69.7%、利用者数25,506人)
 市民ホール(481件、稼働率59.5%、利用者数34,983人)

②指定管理者による自主事業の実施
 平成26年度 58公演87ステージ開催 観覧者数 42,701人 平成27年度 66公演88ステージ 観覧者数 48,473人
 平成28年度計画 28公演54ステージ 観覧者数 30,850人

③指定管理者による施設維持管理業務の実施
 平成26年度 修繕60件(市民会館 27件、西部市民会館 24件、中崎公会堂 5件、市民ホール 1件、他 3件)
 平成27年度 修繕66件(市民会館 35件、西部市民会館 25件、中崎公会堂 5件、市民ホール 0件、他 1件)

④その他の業務
 平成26年度 広報紙「しおさい」の発行 101,000部、友の会(343人、法人5団体)、第九合唱団(234人)の育成等の実施
 平成27年度 広報紙「しおさい」の発行 104,000部、友の会(349人、法人5団体)、第九合唱団(239人)の育成等の実施

※ ②以外についても、平成28年度も例年と同様に実施。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
26決算	171,293	11,480	182,773	0	0	977	181,796	正規	0.50	7/11/11	0.00				
27当初予算	171,060	12,820	183,880	0	0	842	183,038					再任用	0.00	その他	0.00
27決算	170,998	12,820	183,818	0	0	1,046	182,772								
28当初予算	172,060	4,050	176,110	0	0	1,828	174,282								

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	協定書印刷製本費	7		需用費	協定書印刷製本費	10
	委託料	指定管理料	170,991	委託料	指定管理料	172,050	
合計			170,998	合計			172,060

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-019	事務事業名	市民会館運営事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	4施設の利用者数	芸術・文化の発表の場としての指標として設定する。			330,619	348,757	349,000
		平成28年度	人	349,000			
	自主事業の入場者数	市民ニーズに沿った多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。			42,701	48,473	35,000
		平成28年度	人	35,000			
指標で表せない成果							
長期的な目標に基づいた新たな事業展開や、アウトリーチ、人材育成といった事業の推進が行われている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>以下の各施設における課題について、指定管理者と協議を行い、解決を図っていく。</p> <p>（市民会館）市内唯一の大規模ホールを有し、明石市を代表する文化施設として開館以来市民に親しまれてきており、文化の息づくまちあかしの実現のため、市の指導監督のもとに指定管理による効率的な運営を行い、文化芸術に親しむ機会を提供する。</p> <p>（中崎公会堂）現在は、武道やダンスの会場に使用されることが多いが、文化財としてその趣きを活かし、明石らしい自主事業の開催や、新たな貸館利用の開拓を行っていく。</p> <p>（西部市民会館）図書館との複合施設であり、明石市西部地区の文化振興の拠点、地域密着型の文化施設として、特にホールの利用促進を図っていく。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	文化財保護調査・啓発事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 020			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	項	社会教育費			連絡先	(078)918-5629		
	目	社会教育総務費		自治/法定		自治+法定	開始年度	不明
	事業	文化財保護調査・啓発事業				根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例・明石市文化財保護条例施行規則・明石市文化財審議会規則	
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		<input type="radio"/>	その他
個別計画	あかし教育プラン		委託	<input type="radio"/>	指定管理			

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 市内の文化財を保護するとともに、文化財啓発事業を推進することにより、市民の文化財に対する理解を深める。

成果指標					
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	
企画展「発掘された明石の歴史展」の入館者数	市内で出土した埋蔵文化財の公開に訪れた来館者の数により市民の文化財に対する関心度を図る指標とする。	平成28年度	人	2,000	
出前講座「市内の文化財について」の実施回数	市内団体等の要請により行った出前講座の件数により文化財啓発活動の量を示す指標とする。	平成28年度	回	10	

- 事業内容**
- <平成26年度>
 1 文化財審議会の開催(年1回)
 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(4ヶ所各3回)
 3 県・市指定文化財保護に対する補助(住吉神社楼門屋根瓦の修理ほか)
 4 「発掘された明石の歴史展」の開催
 5 地域文化財の普及活用事業
 明石全域の文化遺産を網羅した資料集の作成と西部の文化遺産のマップを活用した事業を行った。
 6 出前講座の実施
 7 寺山古墳石室の移転
- <平成27年度>
 1 文化財審議会の開催(年2回)
 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(4ヶ所各3回)
 3 県・市指定文化財保護に対する補助(茨木酒造瓶詰め場修理事業ほか)
 4 「発掘された明石の歴史展」の開催
 5 出前講座の実施
- <平成28年度>
 1 文化財審議会の開催(年3回)
 2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(4ヶ所各3回)
 3 県・市指定文化財保護に対する補助
 4 「発掘された明石の歴史展」の開催
 5 出前講座の実施

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	14,433	6,080	20,513	0	5,864	150	14,499	正規	0.60	アルバイト	0.00
27当初予算	8,292	7,680	15,972	0	0	160	15,812	再任用	0.00	その他	0.50
27決算	6,884	7,680	14,564	0	0	600	13,964	任期付	0.50	合計	1.60
28当初予算	5,961	7,510	13,471	0	0	550	12,921				

区分(節)	内容	金額		28年度当初予算事業費	明細		27年度決算事業費	明細	
報酬	文化財審議会委員報酬	80		2	報酬	文化財審議会委員報酬	150		
旅費	地域文化財普及活用事業に伴う講師招聘旅費	43		2	旅費	地域文化財普及活用事業に伴う講師招聘旅費	66		
需用費	文化財保護調査用フィルム現像、市内文化財標柱修繕等	726		2	需用費	文化財保護調査用フィルム現像、市内文化財標柱修繕等	555		
役務費	文化博物館内執務室及び作業室等電話回線使用料	356		2	役務費	文化博物館内執務室及び作業室等電話回線使用料	324		
委託料	「発掘された明石の歴史展」「明石藩関連資料調査公開」事業等	4,036		2	委託料	「発掘された明石の歴史展」「明石藩関連資料調査公開」事業等	4,405		
その他	市指定文化財補助金等	1,643		2	その他	市指定文化財補助金等	461		
合計		6,884		2	合計		5,961		

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-020	事務事業名	文化財保護調査・啓発事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	企画展「発掘された明石の歴史展」の入館者数	市内で出土した埋蔵文化財の公開に訪れた来館者の数により市民の文化財に対する関心度を図る指標とする。			2,100	2,100	2,100
		平成28年度	人	2,000			
	出前講座「市内の文化財について」の実施回数	市内団体等の要請により行った出前講座の件数により文化財啓発活動の量を示す指標とする。			15 (約400人)	15 (約400人)	15 (約400人)
		平成28年度	回	10			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>地域にある文化財を保護・啓発することは、歴史を活用した地域づくりを進め、それを担う地域住民を育てることができることから、今後もこの事業を積極的に推進することにより、より一層の地域づくり・人づくりに寄与する必要がある。発掘調査によって出土した資料や寄贈を受けた明石藩関連の資料の展示公開を図っていく中で、明石の歴史、文化を多くの人に知ってもらい、郷土への愛着を深めてもらう。また、未来を担う小・中学生にも興味をもってもらおう、体験学習や出前講座等の機会を増やし、次世代に伝統的な歴史、文化を継承していく。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-021	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
開発事業に先立って確認調査を行うことにより、その調査のデータに基づき、開発業者へ設計変更等を指示し、埋蔵文化財の適切な保護にあたることができている。また、個人住宅の建て替え等による調査では、新たな遺構・遺物が発見され、地域の歴史性の理解を推進している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
埋蔵文化財の発掘調査は、文化財保護法に基づき、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業であり、継続的に行っていく必要がある。成果をより多くの人に知ってもらうよう、展示や出前講座を通して、地域の財産として積極的に公開し、活用の推進を図る。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 022		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	教育費					
	項	社会教育費					
	目	社会教育総務費					
	事業	埋蔵文化財発掘調査事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課			
	2-4 文化芸術の振興		連絡先	(078)918-5629			
個別計画	あかし教育プラン		自治/法定	自治事務	開始年度	不明	
			根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例			
実施方法			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="radio"/>	
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="radio"/>	

事業の目的・目標	目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)				
	周知の埋蔵文化財包蔵地内の開発に先立ち、事前に発掘調査を行うことにより、資料の適切な保存を図り、地域の歴史・文化の向上に役立てる。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<平成26年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、12件の発掘調査を実施した。
	<平成27年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、6件の発掘調査を行った。
	<平成28年度> 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、7件の発掘調査を実施する予定である。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	0	10,680	10,680	0	0	1,335	9,345	正規	0.60	アルバイト	0.00
27当初予算	60,300	11,680	71,980	0	0	64,521	7,459	再任用	0.00	その他	0.20
27決算	5,996	11,680	17,676	0	0	9,292	8,384	任期付	2.40	合計	3.20
28当初予算	60,300	11,640	71,940	0	0	63,225	8,715				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	埋蔵文化財発掘業務委託	5,996		需用費	発掘調査に伴う消耗品費及び記録写真現像料等	300
					委託料	埋蔵文化財発掘業務委託	60,000
合計			5,996	合計			60,300

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-022	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
出土資料の整理を経て、コミセンなどへの出前講座や、展示会などを通して、広く地域住民にその成果を還元することができる。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>文化財保護法に基づき、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業であり、市民の文化や歴史を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。</p> <p>開発事業に伴う発掘調査の場合、それに要する経費は開発事業者が負担することになっている。開発業者と事前に緊密な調整を行う中で、開発事業者が負担する経費や調査期間の縮減を図り、かつ、埋蔵文化財に関する記録を必要十分な形で後世に伝えていく必要がある。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-023	事務事業名	埋蔵文化財出土資料整理事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
調査成果の公開により、市民の歴史文化に対する理解を促進させることができ、文化財を通して郷土に対する愛着を深めることができる。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う文化財保護法に定められた事業であり、市民の文化や歴史を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。そのため、貴重な埋蔵文化財を劣化から守り、長期的に活用していくためにも、迅速かつ正確な資料整理が必要であり、その成果として埋蔵文化財発掘報告書を刊行する。また、刊行した報告書を用いて高齢者大学やコミセン、地元自治会等で説明会を開催することにより、市民に広く公開し、地域の歴史・文化の普及・啓発を図っていく。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	市史編さん事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 024				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	社会教育費	連絡先	(078)918-5629					
	目	社会教育総務費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 25 年度			
	事業	市史編さん事業	根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法					
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
個別計画	あかし教育プラン			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 既刊『明石市史』は昭和35年（1960年）に刊行されたものであり、相当の年月が経過している。その間、総合的な歴史研究の進展に加え、明石の歴史を塗り替える新たな貴重な資料も多く発見されており、既存の市史では不十分な内容となっている。そこで、新たな『明石市史』を編さん・刊行する事業を実施し、市史がさまざまな場で活用されることで歴史息づく明石のまちに誇りと愛着をもってもらうとともに、今でなければ記録しえない地域の歴史についても記録化・保存し後世に伝えることを目的とする。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容

<平成26年度>
 市史編さん事業に向けて、学識経験者5名による会議を4回開催し、その仕様や市史編さんの体制、市民への普及を図るためのあり方等について検討する。

<平成27年度>
 地域に残る歴史資料をボランティアとともに掘り起こし、調査・研究を行った。既存歴史資料の洗い出しを行い、調査の過程で明らかになった事業成果について、適宜広報活動・啓発活動に努め、市民に還元した。

<平成28年度>
 専門委員会に委託し、各部門における資料の収集、調査、研究を行う。また、地域に残る歴史資料をボランティアとともに掘り起こしを行う。既存歴史資料の洗い出しを行い、調査の過程で明らかになった事業成果について、適宜広報活動・啓発活動に努め、市民に還元する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	3,878	13,660	17,538	0	0	0	17,538	正規	0.60	アルバイト	1.00
27当初予算	4,127	12,180	16,307	0	0	0	16,307	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	4,011	12,180	16,191	0	0	0	16,191	任期付	2.80	合計	4.40
28当初予算	4,100	13,940	18,040	0	0	0	18,040				

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	市史編さん実行委員会委員に対する謝礼	180		報償費	市史編さん実行委員会委員に対する謝礼	200
旅費	専門委員会議出席旅費	123	旅費	専門委員会議出席旅費	150		
需用費	コピー用紙代等	43	需用費	コピー用紙代等	50		
役務費	電話回線等使用料	138	役務費	電話回線等使用料	150		
委託料	調査研究委託料	3,500	委託料	調査研究委託料	3,500		
使用料及び賃借料	コピー機使用料	27	使用料及び賃借料	コピー機使用料	50		
合計			4,011	合計			4,100

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-024	事務事業名	市史編さん事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>市史刊行に向けて既存の市史に加わる新たな資料の掘り起しと調査を進めていく。優先度の高いものから効果的に調査しデータを蓄積していく。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-025	事務事業名	東播磨文化団体連合会との共催事業
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成27年度限りで休廃止					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成27年度限りで休廃止						

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-026	事務事業名	文化財資料調査研究(緊急雇用)事業
------	----------------	-------	-------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	雇用者数	当該事業によって採用された人数			4	4	/
			人				
							/
							/
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成27年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
	平成27年度限りで休廃止					

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯スポーツ支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 001			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
	項	保健体育費			連絡先	(078)918-5624		
	目	保健体育総務費		自治/法定		自治事務	開始年度	不明
	事業	生涯スポーツ支援事業						
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
	2-3 スポーツの振興			実施方法	直営	○	補助・助成	○
個別計画	スポーツ振興計画		委託			指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民が健康で明るく豊かな社会生活を営むために、一般市民から競技者まで幅広く市民等が行うスポーツ活動を支援する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
			26年度	27年度	28年度
	1 明石市文化・スポーツ振興激励金の支給	全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会等に出場する選手に対し、その活躍を期待することから激励金を支給する。	支給対象790人	支給対象779人	支給対象780人
	2 全国的スポーツ大会開催支援	1全国高等学校軟式野球大会の歓迎事業(S56年度から) 2明石市長杯関西大学ビーチバレー男女選手権大会の開催補助(H10年度から開始)			
	3 明石市スポーツ表彰式の開催	本市のスポーツ振興に功績のあった方や全国大会等で優秀な成績を収めた選手等を表彰し、その功績と成績を称える。	受賞者100名	受賞者112名	受賞者140名
	4 明石市スポーツ振興基金の積立	本市がスポーツを推進していくうえで、今後必要となる支出に備えるため基金を積み立てる。(H24年度から開始)	積立額10,007千円	積立額10,054千円	積立額10,021千円

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	13,840	11,380	25,220	0	0	7	25,213				
27当初予算	16,210	9,500	25,710	0	0	100	25,610	正規	0.70	アルバイト	0.00
27決算	13,643	9,500	23,143	0	0	53	23,090	再任用	0.00	その他	0.00
28当初予算	15,968	6,970	22,938	0	0	115	22,823	任期付	0.50	合計	1.20

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	文化・スポーツ振興激励金ほか	2,114		4,050		
需用費	スポーツ表彰にかかるメダル、記念品、印刷製本等	928	897				
使用料及び賃借料	コピー使用料、会場使用料等	150	314				
負担金補助及び交付金	関西大学ビーチバレー大会運営補助	150	155				
積立金	明石市スポーツ振興基金	10,053	10,100				
その他	備品購入等	248	452				
合計			13,643	合計			15,968

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-001	事務事業名	生涯スポーツ支援事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
<p>全国大会等に出場する選手への激励金の支給やスポーツ賞表彰などの事業は、選手にとって励みとなっており、競技スポーツの振興につながっている。</p> <p>また、ニュースポーツ道具や体力測定器具を貸し出すことにより、スポーツに親しむためのきっかけづくりにつながっている。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>○本事業における、明石市文化・スポーツ振興激励金の支給や明石市スポーツ賞表彰などは、選手にとって目標であり励みとなっており、競技スポーツの推進を図るため継続して実施する必要がある、平成28年度からは、小学生についてもスポーツ賞で激励する制度の構築に努めている。</p> <p>○今後も、賑わいのあるまちづくりに資するよう、関係団体と連携して絶好のロケーションを誇る大蔵海岸を会場とするイベントや大会の誘致に努める。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯スポーツ推進事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 002				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課				
	項	保健体育費		連絡先	(078)918-5624				
	目	保健体育総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	生涯スポーツ推進事業		根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
施策分野	2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
	2-3 スポーツの振興			委託	○	指定管理			
個別計画	スポーツ振興計画								

事業の目的・目標
目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 市民が、自らの健康・体力の維持増進を図れるよう、スポーツをする機会等を提供し、競技力の向上にも結び付けていくよう生涯スポーツの推進を図る。特に子どもにはスポーツをする喜びを味わってもらうよう、体力向上・競技力向上に向けたイベント等を開催する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
スポーツ実施率	成人の週1回以上のスポーツ実施率	平成29年度	%	45
スポーツを行っていない割合	ほとんど運動やスポーツを行っていない成人の割合	平成29年度	%	32

活動名	活動内容 (〇〇するために、□□に対し、△△する)	活動実績		活動見込み
		26年度	27年度	28年度
1 ジュニアスポーツ推進事業	①ヴィッセル神戸との連携事業「親子サッカー教室」等の開催 ②プロ野球OB選手会との連携事業「集まれ！野球っ子」の開催 ③兵庫県自転車競技連盟との連携事業「ジュニア自転車競技教室」 上記は、専門性を持った指導者による子ども向けのスポーツ教室を開催し、スポーツの楽しさを味わうことはもちろんのこと、憧れや夢を与えることによりスポーツを続けようとするきっかけづくりとする。	①年7事業実施 ②年1回開催 ③年6回開催	①年7事業実施 ②年1回開催 ③年6回開催	①年7事業実施 ②年1回開催 ③年6回開催
2 市民スポーツ推進事業	①あかしスポーツフォーオールの実施 ②ときめきスポーツライフ推進プランの実施 ③ビーチスポーツフェスタの実施 上記は、明石市体育協会と明石市スポーツ推進委員会との連携・協働して、誰もが気軽に参加できるスポーツのイベントを実施し、スポーツをする人のすそ野の拡大を図る。			①3事業を実施 ②4事業の実施 ③年1回開催
3 明石市総合体育大会等の開催	明石市体育協会加盟団体ごとによる市内最大のスポーツの祭典である総合体育大会のほか、種目ごとにおける大会を開催し、本市の競技レベルの向上を図る。	総参加者数 45,350人	総参加者数 52,020人	総参加者数 50,000人
4 明石市体育協会による市民向けスポーツ教室の開催	明石市体育協会加盟団体による、それぞれの専門性を活かした市民向けの教室を開催し、スポーツをする、し続ける人の増加を図る。	16種目43教室	17種目45教室	17種目39教室
5 市民ショートテニス大会の開催	明石市スポーツ推進委員会が普及に努めているショートテニスの全市規模の大会を開催し、愛好者のすそ野の拡大を図る。	年1回開催	年1回開催	年1回開催

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	7,774	12,020	19,794	0	0	57	19,737				
27当初予算	10,249	17,440	27,689	0	0	68	27,621	正規	1.30	アルバイト	0.00
27決算	8,654	17,440	26,094	0	0	64	26,030	再任用	0.00	その他	0.00
28当初予算	9,267	10,790	20,057	0	0	68	19,989	任期付	0.10	合計	1.40

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	イベント開催にかかる看護師謝礼等	354		28	報償費	看護師謝礼ほか
需用費	市総合体育大会開催にかかる賞状印刷等	176	28	需用費	総合体育大会開催に係る表彰状印刷ほか	243	
役務費	イベント開催にかかる保険料	7	28	委託料	総合体育大会等開催委託、ジュニアスポーツ推進事業委託ほか	7,712	
委託料	市総合体育大会等開催事業委託・ジュニアスポーツ推進事業委託等	7,502	28	役務費	傷害保険料ほか	66	
使用料及び賃借料	イベント開催にかかる会場使用料	265	28	使用料及び賃借料	スポーツ大会に係る会場使用料等	132	
負担金補助及び交付金	小学生駅伝大会開催補助	350	28	負担金補助及び交付金	小学生駅伝実行委員会への補助ほか	753	
合計			8,654	合計			9,267

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-002	事務事業名	生涯スポーツ推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	スポーツ実施率	成人の週1回以上のスポーツ実施率			41.2		
		平成29年度	%	45			
	スポーツを行っていない割合	ほとんど運動やスポーツを行っていない成人の割合			37.7		
		平成29年度	%	32			
指標で表せない成果							
大会や教室に市民が参加することで、健康体力の保持増進が図られるとともに、スポーツをする人のすそ野の拡大や、ひいては競技力の向上につながっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>○本事業は、全ての市民を対象とし、スポーツをする機会を提供することにより健康・体力の維持増進に努めながらスポーツをする人のすそ野の拡大を図ること、また、一方で各種大会等を開催して本市の競技レベルの向上を図ることを目的としている。</p> <p>○現在、子どもの体力向上が全国的な課題となっており、子どもたちにスポーツや運動をする楽しさを体験できるイベントを開催することにより、スポーツや運動を継続して行う習慣づくりのきっかけを提供していく必要がある。そのため、明石市体育協会との連携、明石市スポーツ推進委員会との協働での事業展開をはじめ、ヴィッセル神戸及び兵庫県自転車競技連盟など、より専門的な指導方法や知識をもった団体との連携による事業委託などを積極的に展開していくこととする。</p> <p>○今後も「明石市スポーツ振興計画」における「スポーツや運動をする人のすそ野の拡大」「子どものスポーツ・運動機会の拡大」の重点施策に取り組んでいく。</p>						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	スポーツ推進委員活動事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 003			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
	項	保健体育費			連絡先	(078)918-5624		
	目	保健体育総務費		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 37 年度
	事業	スポーツ推進委員活動事業						
施策分野	2 教育・文化分野 2-3 スポーツの振興	根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画					
個別計画	スポーツ振興計画		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
				委託		指定管理		

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 スポーツ基本法第32条に基づき設置されたスポーツ推進委員が、本市におけるスポーツ活動の推進を目的として、市民に対しスポーツの実技指導をはじめ、その他のスポーツに関する指導及び助言、さらに地域と行政とのコーディネーターとしての活動ができるように支援するとともに、地域のニーズに対応したスポーツ活動を行うことによりコミュニティづくりに貢献する。

事業の目的・目標	成果指標			
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位
	年間活動回数	スポーツ推進委員会としての一年間の活動回数	平成28年度	回
				目標値 80

事業内容

1 スポーツ推進委員会活動支援
 委嘱人数 H26年度・H27年度 29名 H28年度・H29年度 29名(任期2年)
 報酬月額 6,400円
 ・地域でのスポーツ推進のため、実技の指導やスポーツ教室などを行うほか、本市等が行うスポーツイベントの支援を行う。
 (H27年度は、出前講座、市民ショートテニス大会、小学生駅伝大会等に出務 H28年度も同イベント支援見込)
 ・明石市スポーツ推進委員全体会を開催し、それぞれの活動の情報共有を図っている。
 (H26年度 6回 H27年度 6回 H28年度見込 6回)
 ・より専門的で効果的な活動を行うため、スポーツ推進委員会の中に3つの専門部会(事業部会・研修部会・広報部会)を設置している。各専門部会での事業内容等の検討結果を全体会に提案し、決定している。(H27年度 専門部会25回開催)
 ・委員の活動状況を知らせ、地域のスポーツの推進につなげていけるよう、広報紙「ときめきスポーツライフ」を年2回発行。
 ・自主事業としてショートテニス教室・親子で運動遊び体験などの開催
 H26年度 8回 H27年度 10回

※委員会としての年間活動回数
 H26年度 68回 H27年度 79回 H28年度見込 80回

2 資質向上のための各種研修会等への参加支援
 ・東、北播磨地区スポーツ推進委員研修会
 ・兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会
 ・生涯スポーツ指導者地区別研修会(東・北播磨地区)
 ・近畿・全国スポーツ推進委員研究協議会

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	2,537	11,200	13,737	0	0	0	13,737	正規	1.00	アルバイト	0.00
27当初予算	2,793	8,460	11,253	0	0	0	11,253	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	2,621	8,460	11,081	0	0	0	11,081	任期付	0.40	合計	1.40
28当初予算	2,775	9,140	11,915	0	0	0	11,915				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	委員報酬	2,227		報酬	スポーツ推進委員報酬	2,228
旅費	委員活動旅費	111	旅費	スポーツ推進委員旅費	309		
需用費	広報紙印刷製本費等	73	需用費	広報紙印刷製本費ほか	81		
役務費	委員活動保険料	54	役務費	スポーツ安全保険料	58		
使用料及び賃借料	全体会会場使用料	7	使用料及び賃借料	全体会会場使用料	5		
負担金補助及び交付金	委員連絡協議会分担金等	149	負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員連絡協議会分担金ほか	94		
合計			2,621	合計			2,775

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-003	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	年間活動回数	スポーツ推進委員会としての一年間の活動回数			68	79	80
		平成28年度	回	80			
指標で表せない成果							
スポーツ推進委員が、各地域で取り組んでいるニュースポーツ教室や体力測定会などで指導助言及び、連絡調整を行うことで、地域スポーツの推進が図られている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
○国における「スポーツ基本法」「スポーツ基本計画」や本市における「明石市スポーツ振興計画」において、スポーツ推進委員は重要な位置づけであることから、今後も活動を支援していくこととする。 ○具体的には、スポーツ推進委員が、自主的に連携して小学校区コミセンなどを会場としたニュースポーツ教室や親子で楽しむスポーツ体験会などを実施し、市内各地域のスポーツ活動の推進に貢献できるよう支援を行っていく。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	コミセン管理運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130002000 - 001			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費						
	項	総務管理費						
	目	コミュニティ費						
	事業	コミセン管理運営事業						
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習センター				
	2-5 生涯学習の推進		連絡先	(078)918-5600				
個別計画	生涯学習ビジョン		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
			根拠法令・要綱等	明石市立コミュニティ・センター条例、同施行規則				
実施方法			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	地域住民の生涯学習の拠点施設である中学校区コミセンにおいて、活発な学習活動が行われるよう管理運営を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	コミセン利用件数(延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した件数を成果指標とする。	平成28年度	件	30,000
コミセン利用人数(延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した人数を成果指標とする。	平成28年度	人	500,000	
事業内容	<平成26・27年度実績及び平成28年度見込み>				
	① 施設の維持管理運営 ・修繕実施件数 平成26年度 104件 平成27年度 92件 平成28年度 100件(見込み)				
	② 学習活動の支援 ・登録サークルに活動場所を提供する等の学習支援を行った				
	③ 生涯学習、地域活動等の場の提供				
	④ 生涯学習機会の提供 ・高齢者大学、市民講座等の実施(生涯学習推進事業の委託料による)				
※ (コミセン利用件数(延べ)) 平成26年度 30,139件 平成27年度 29,522件 平成28年度 30,000件(見込み) (コミセン利用人数(延べ)) 平成26年度 510,599人 平成27年度 491,461人 平成28年度 500,000人(見込み)					

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	28,286	81,120	109,406	0	0	4,741	104,665	正規	1.10	アルバイト	0.00
27当初予算	30,720	80,220	110,940	0	0	4,522	106,418	再任用	6.00	その他	55.00
27決算	28,043	80,220	108,263	0	0	4,551	103,712	任期付	0.50	合計	62.60
28当初予算	32,087	82,035	114,122	0	0	4,392	109,730				

区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等	15,645	需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等	18,032	
役務費	コミセン電話料金等	1,081	役務費	コミセン電話料金等	1,241	
委託料	コミセン運営業務委託(13コミセン運営委員会)等	7,573	委託料	コミセン運営業務委託(13コミセン運営委員会)等	8,512	
使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等	3,462	使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等	3,826	
その他	報償費、負担金補助金及び交付金	62	その他	報償費、備品購入費、負担金補助金及び交付金	186	
合計		28,043		合計		32,087

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-001	事務事業名	コミセン管理運営事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	コミセン利用件数(延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した件数を成果指標とする。			30,139	29,522	30,000
		平成28年度	件	30,000			
	コミセン利用人数(延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した人数を成果指標とする。			510,599	491,461	500,000
		平成28年度	人	500,000			
指標で表せない成果							
身近な場所に気軽に集まることのできる拠点があることにより、生涯学習活動を身近に取り入れる環境が構築されている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
				×	
現状の課題・今後の事業展開方針等					
<p>中学校区コミセンは、高齢者大学や市民講座など地域住民に学習機会を提供するとともに、コミセン登録団体等を中心に自主的な文化・スポーツ活動を通じた生涯学習の場としての役割を担うほか、災害時等の避難施設として機能している。さらに、地域の諸行事において地域住民が集う施設として親しまれ利用されているものの、経年劣化等により施設・設備の維持管理経費の増高が見込まれる。今後は、講座受講料やコミセン登録団体の施設使用料減免措置のあり方について検討を進める。</p>					

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	コミセン施設整備事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130002000 - 002			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費						
	項	総務管理費						
	目	コミュニティ費						
	事業	コミセン施設整備事業						
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習センター				
	2-5 生涯学習の推進		連絡先	(078)918-5600				
個別計画	生涯学習ビジョン		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度		
			根拠法令・要綱等	明石市立コミュニティ・センター条例、同施行規則				
実施方法			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	中学校区コミセンが、地域住民の生涯学習活動の拠点施設として十分機能するよう、老朽化対応や耐震化など安全面や機能向上を目指し、施設・設備を整備する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
事故件数	設備の不具合による年間事故件数	平成28年度	件	0	

事業内容	<平成26年度>
	・江井島コミセン講堂床面長尺シート全面張替 ・空調機更新(野々池、望海、大久保北)等の施設・設備の整備
	<平成27年度>
	・衣川コミセン玄関底部修繕 ・空調機更新(江井島・大久保北・大蔵)等の施設・設備の整備
	<平成28年度>
	・錦城コミセン耐震補強工事 ・空調機更新等の施設・設備の整備

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	6,589	36,900	43,489	0	0	0	43,489	正規	0.80	アルバイト	0.00
27当初予算	3,850	36,900	40,750	0	0	0	40,750	再任用	6.20	その他	10.00
27決算	3,849	36,900	40,749	0	0	0	40,749	任期付	0.10	合計	17.10
28当初予算	60,747	37,170	97,917	0	57,000	0	40,917				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	衣川コミセン玄関底部修繕ほか	1,199		需用費	トイレ洋式化修繕ほか	1,200
備品購入費	空調機更新等	2,650	役務費	家電リサイクル料	47		
			工事請負費	錦城コミセン耐震補強ほか工事	57,000		
			備品購入費	空調機更新等	2,500		
	合計		3,849		合計		60,747

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-002	事務事業名	コミセン施設整備事業		
------	----------------	-------	------------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	事故件数	設備の不具合による年間事故件数			0	0	0
		平成28年度	件	0			
指標で表せない成果							
コミセン利用者に最も求められているものは、安全で快適に施設を利用できることであり、安全面の向上と機能充実を図ることで、利用者の満足度は向上している。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
中学校区コミセンは、高齢者大学や市民講座など地域住民に学習機会を提供するとともに、コミセン登録団体等を中心に自主的な文化・スポーツ活動を通じた生涯学習の場としての役割を担うほか、災害時等の避難施設として機能している。さらに、地域の諸行事において地域住民が集う施設として親しまれ利用されているものの、経年劣化等により施設・設備の維持管理経費の増高が見込まれる。今後とも施設利用者の安全性確保や利用者サービスの維持向上を図るため適宜、施設・設備の修繕、更新を行う。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習センター運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130002000 - 003				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費							
	項	総務管理費							
	目	生涯学習センター費							
	事業	生涯学習センター運営事業							
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則					
	2-5 生涯学習の推進								
個別計画	生涯学習ビジョン		実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他	
				委託	<input type="radio"/>	指定管理			
自治/法定		自治事務	開始年度	平成 14 年度					

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	生涯学習センター（男女共同参画センター・消費生活センター・子育てプレイルーム・子ども図書館・明石駅市民サービスコーナー除く）において、多くの市民が生涯学習に取り組み、市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、使いやすい貸し館運営を行い、提供するサービスを充実させる。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	稼働率	貸し館の年間利用率 (年間使用数/年間使用可能数)	平成28年度	%	54
利用者数	貸し館の年間利用者数	平成28年度	人	113,000	
事業内容	<平成26年度>				
	① 学習センター貸し館運営 ・学習室1(120人)、2(81人)、3(45人)、4(12人)、パソコン室(25人)、調理実習室(25人)、工芸室(25人)、和室・茶室(29人)、ホール(293人)、リハーサルスタジオ(20人)、音楽練習室1,2(12人)の貸し館を行った。 ・利用件数 7,408件、平均利用率 72.0%、利用者数 110,829人				
	② 学習情報の提供 ・学習情報誌「わらしのわ」を発行した(年4回、3500部)。 ・生涯学習センターホームページにて、貸し館の状況や企画事業の情報提供を行った。 ・学習情報コーナーにて、各種生涯学習に関するパンフレット、チラシの閲覧サービスを行った。				
	<平成27年度>				
	① 学習センター貸し館運営 ・利用件数 7,471件、平均利用率 72.3%、利用者数 112,907人				
	② 学習情報の提供				
	<平成28年度>				
	① 学習センター貸し館運営				
	② 学習情報の提供				

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	10,681	20,180	30,861	0	0	10,681	20,180	正規	0.90	アルバイト	0.50
27当初予算	11,389	21,860	33,249	0	0	10,892	22,357	再任用	0.30	その他	0.00
27決算	11,601	21,860	33,461	0	0	11,601	21,860	任期付	3.60	合計	5.30
28当初予算	12,989	18,570	31,559	0	0	10,989	20,570				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費(事務用品等)、舞台用電球・学習情報誌等	3,127		需用費	消耗品費(事務用品等)、舞台用電球・学習情報誌等	2,703
役務費	ホール用人件費・ピアノ調律代等	139	役務費	ホール用人件費・ピアノ調律代等	369		
委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール照明保守等	6,521	委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール照明保守等	6,353		
使用料及び賃借料	公用車駐車場借り上げ料、コピー使用料	1,163	使用料及び賃借料	公用車駐車場借り上げ料、コピー使用料	1,161		
その他	旅費、備品購入費等	651	その他	旅費、備品購入費等	2,403		
合計			11,601	合計			12,989

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-003	事務事業名	生涯学習センター運営事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)			53.4	53.9	54.0
		平成28年度	%	54			
	利用者数	貸し館の年間利用者数			110,829	112,907	113,000
		平成28年度	人	113,000			
指標で表せない成果							
センターの利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
生涯学習センターに指定管理者制度を導入(H29.4)し、センター内の各機能の効率的、一体的な事業展開を目指すほか貸館受付窓口の一元化など、更なる利便性の向上を図る。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	分室運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130002000 - 004			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習センター			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5600		
	目	生涯学習センター費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 14 年度
	事業	生涯学習センター運営事業						
施策分野	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則				
個別計画	生涯学習ビジョン			実施方法	直営	○	補助・助成	その他
					委託		指定管理	

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	生涯学習センター分室において、多くの市民が生涯学習に取り組み市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、施設設備の状態を良好に保ち、使いやすい貸し館運営を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)	平成28年度	%	57
利用者数	貸し館の年間利用者数	平成28年度	人	53,000	

事業内容	<平成26年度>	
	① 貸し館運営 ・大会議室(250人)、和室(50人)、実習室(30人)、研修室(35人)、視聴覚室(35人)、小会議室(20人)の貸し館運営を行った。 ② 学習活動の支援 ・登録サークルに活動場所を提供するなどの学習支援を行った。 ※①、②を合わせた利用件数等 延件数3,330件、延人数55,187人 ③ 修繕 ・都市ガス警報器交換修繕、視聴覚室カーテン修繕	
	<平成27年度>	
事業内容	① 貸し館運営 ② 学習活動の支援 ※①、②を合わせた利用件数等 延件数3,319件、延人数52,046人 ③ 修繕 ・大会議室カーテンレール修繕、大会議室床押さえ修繕 ほか	
	<平成28年度>	
	① 貸し館運営 ② 学習活動の支援	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	600	8,020	8,620	0	0	600	8,020	正規	0.30	アルバイト	0.10
27当初予算	954	8,020	8,974	0	0	867	8,107	再任用	0.10	その他	5.00
27決算	416	8,020	8,436	0	0	416	8,020	任期付	0.00	合計	5.50
28当初予算	613	7,200	7,813	0	0	579	7,234				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費(事務用品等)	163		247	需用費	消耗品費(事務用品等)
役務費	電信電話料・ピアノ調律代	151	189	役務費	電信電話料・ピアノ調律代	189	
使用料及び賃借料	コピー使用料等	102	143	使用料及び賃借料	コピー使用料等	143	
				備品購入費	AEDバッテリー	34	
	合計		416		合計		613

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-004	事務事業名	分室運営事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)			56.4	56.0	57.0
		平成28年度	%	57			
	利用者数	貸し館の年間利用者数			55,187	52,046	53,000
		平成28年度	人	53,000			
指標で表せない成果							
分室の利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
					×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
市立図書館移転後の生涯学習センター分室のあり方について、今後の方向性を整理・検討する。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130002000 - 005		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	生涯学習センター費					
	事業	生涯学習センター運営事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習センター			
	2-5 生涯学習の推進		連絡先	(078)918-5600			
個別計画	生涯学習ビジョン		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
			根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
実施方法			直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民の多様な学習需要に応えるため、生涯学習センターが保有する視聴覚教材、機材を利用しやすい環境をつくる。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	貸出件数	教材(DVD、ビデオ等)の年間貸出件数	平成28年度	件	45

事業内容	<平成26年度>	
	① 教材、機材の貸し出し及び教材の新規購入 ・幼稚園や子ども会、自治会などに16ミリフィルムやビデオ教材、及びプロジェクターやスクリーンなど機材の貸し出しを行った。 ・年間貸し出し件数 教材25件(学校:15件、その他10件)、機材16件(学校:9件、その他:7件) ・教材の新規購入(DVD5本を購入)	
	<平成27年度> ※下記変更以外は例年とほぼ同じ。 ① 教材、機材の貸し出し及び教材の新規購入 ・年間貸し出し件数 教材28件(学校:11件、その他17件)、機材20件(学校:6件、その他:14件) ・教材の新規購入(DVD 5本を購入)	
	<平成28年度> ① 教材、機材の貸し出し	

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	311	1,260	1,571	0	0	0	1,571	正規	0.00	アルバイト	0.10
27当初予算	530	1,340	1,870	0	0	0	1,870	再任用	0.00	その他	0.00
27決算	320	1,340	1,660	0	0	0	1,660	任期付	0.20	合計	0.30
28当初予算	134	700	834	0	0	0	834				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額	
	需用費	消耗品費(ビデオ教材購入費)	320		需用費	消耗品費・視聴覚機材補修	134	
合計			320	合計			134	

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-005	事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	貸出件数	教材(DVD、ビデオ等)の年間貸出件数			41	48	45
		平成28年度	件	45			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	×		×		×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
教材等の貸出は、市内の学校等(小中学校・幼稚園・保育所)がその大半を占めるなど、貸出先が固定化する傾向にあるとともに貸出件数も減少化傾向にあることから、今後、事業廃止も含めあり方を検討する。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	生涯学習センター維持管理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130002000 - 006			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習センター			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5600		
	目	生涯学習センター費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 14 年度
	事業	生涯学習センター維持管理事業						
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則				
	2-5 生涯学習の推進			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>
個別計画	生涯学習ビジョン		委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 生涯学習センターの施設・設備（アスパア明石北館の7階～10階部分、6209㎡。男女共同参画センター・消費生活センター・子育てプレイルーム・子ども図書館・明石駅市民サービスコーナー含む）において、市民がセンターを安全・快適に利用できるよう、また、職員が効率的に執務できるよう、センターの施設・設備の状態を良好に保つ。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
修繕件数	施設設備を安全・快適に供用するため年間修繕件数を指標とする。	平成28年度	件	25
事故件数	設備の不具合による年間事故件数	平成28年度	件	0

事業内容

<平成26年度>
 ① 保守・点検
 ・中央監視盤、AVシステム、空調装置について、年1回の保守点検を実施した。
 ・給水式冷温機（冷房）について、年2回の保守点検を実施した。
 ・電話交換機、エアコン空調機について、月1回の保守点検を実施した。
 ② 修理・修繕
 ・室外機インバーター圧縮機交換、空調機フィルター交換、ホールサイドスピーカー修繕 など17件
 ③ インフラ設備維持
 ・電気・ガス・水道・館内イントラ回線・電話回線の供給を行った。
 ・建物（アスパア）共用部分等の維持管理費を負担した。
 ④ 清掃・・・年1回の定期清掃と開館日の日常清掃を行った。
 ⑤ 警備・・・開館日の夜間（16:30～22:30）の見回り警備と利用者案内を行った。（休館日においても、あかねが丘学園の開講日（8:00～18:00）、明石駅市民サービスコーナーの開所日（8:00～20:30）は見回り警備等を行った。）
 深夜（22:00～8:00）及び休館日の機械警備を行った。

<平成27年度> ※下記変更以外は例年とほぼ同じ。
 ① 修理・修繕
 ・室外機インバーター圧縮機修繕、加圧給水ユニットポンプ修繕、子午線ホール客席足元灯修繕 など24件

<平成28年度>
 ① 大規模修繕
 ② 修理・修繕
 ・空調PAC室外機整備修繕 など

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	79,456	9,560	89,016	0	0	16,412	72,604	正規	0.70	アルバイト	0.30
27当初予算	96,463	9,560	106,023	0	0	15,581	90,442	再任用	0.40	その他	0.00
27決算	87,805	9,560	97,365	0	0	16,203	81,162	任期付	0.00	合計	1.40
28当初予算	204,955	7,570	212,525	0	94,200	15,762	102,563				

区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
需用費	消耗品等(管球等)・施設設備修繕・ガス料金	6,821	28年度当初予算事業費明細	需用費	消耗品等(管球等)・施設設備修繕・ガス料金	7,872
委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	20,854		委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	23,828
備品購入費	施設維持管理用備品一式・貸館用監視カメラ更新・机・椅子	150		工事請負費	センター貸室及び10階倉庫改修ほか	38,000
負担金補助及び	アスパア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	58,392		備品購入費	施設維持管理用備品一式・貸館用監視カメラ更新・机・椅子	4,170
その他	役務費・使用料	1,588		負担金補助及び交付金	アスパア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	128,472
				その他	役務費・使用料	2,613
合計		87,805		合計		204,955

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-006	事務事業名	生涯学習センター維持管理事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	修繕件数	施設設備を安全・快適に供用するため年間修繕件数を指標とする。			17	24	25
		平成28年度	件	25			
	事故件数	設備の不具合による年間事故件数			0	0	0
		平成28年度	件	0			
指標で表せない成果							
維持管理業務の一部を委託化することにより、業務の効率化(コストや職員の負担軽減)が図られている。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成13年の竣工以来の経年劣化に対処するため、アスピア明石北館・南館管理組合で実施する大規模修繕が今年度完了する。今後とも、市民(利用者)が生涯学習センターを安全・快適に利用できるよう施設・設備を維持していく。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	自主企画事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130002000 - 007		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習センター			
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5603			
	目	生涯学習センター費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	事業	生涯学習推進事業	根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同施行規則			
施策分野	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
個別計画	生涯学習ビジョン	委託	○	指定管理			

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民がいつでも、どこでも、さまざま学びに取り組むことができるようにし、個々の学びが地域社会の発展に役立つようにする。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
講座受講者数等	センター主催講座等の受講者数及びシニアカレッジ、コミセン高齢者大学の修了者数を集計	平成28年度	人	4,800	

事業内容	【平成26年度】				
	①講座・イベント等の実施(生涯学習センター、分室、中学校区コミセンで開催) 主催講座の延べ受講者数+コミセン高齢者大学・シニアカレッジの学生数の合計は約4,300名 ・生涯学習センター実施講座 あかし楽講座(歴史講座、こどもあかし楽講座、ふるさと散歩、官学連携講座)、あかし市民企画みんなの講座、あかし“ジモとも”セミナー、クッキングアカデミー、シニアカレッジ(委託事業)、コミセン高齢者大学(委託事業)などを実施。				
	②生涯学習相談…窓口、電話で市民に生涯学習情報を提供。年間相談件数50件程度。 ③生涯学習活動支援 ・明石生涯学習指導者会の20周年行事(作品展、ステージ発表、講演会等)を明石コミセンサークル連絡協議会などの協力のもとに実施。 ・明石コミセンサークル連絡協議会の活動支援				
	【平成27年度】※下記変更以外は、平成26年度とほぼ同じ				
	①講座・イベント等の実施 ・主催講座の延べ受講者数+コミセン高齢者大学・シニアカレッジの学生数は、4,661人 (平成27年度までは生涯学習推進事業として実施。平成28年度から事業を整理し、当事業名に変更)				
	【平成28年度】				
	①講座・イベント等の実施 あかし楽講座(こどもゆめカレッジ、みらいあかし楽、まちシルあかし楽、歴史講座等)、あかし市民企画みんなの講座(10講座)、シニアカレッジ(委託事業)、コミセン高齢者大学(委託事業)などを実施。				

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	11,087	43,360	54,447	0	0	537	53,910	正規	3.25	アルバイト	0.00
27当初予算	11,831	44,000	55,831	0	0	1,083	54,748	再任用	4.00	その他	0.05
27決算	10,878	44,000	54,878	0	0	362	54,516	任期付	1.62	合計	8.92
28当初予算	11,444	44,427	55,871	0	0	700	55,171				

区分(節)	内容	金額		28年度当初予算事業費明細		区分(節)	内容	金額
報償費	講師等謝礼	1,279				報償費	講師等謝礼	1,650
需用費	チラシ・ポスター等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	343				需用費	チラシ・ポスター等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	367
役務費	保険料、ホールスタッフ人件費など	43				役務費	保険料、ホールスタッフ人件費など	91
委託料	シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	9,207				備品購入費	事業用備品の購入	30
負担金補助及び交付金	研修参加負担金	6				委託料	シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	9,298
						負担金補助及び交付金	研修参加負担金	8
合計		10,878				合計		11,444

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-007	事務事業名	自主企画事業
------	----------------	-------	--------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	講座受講者数等	センター主催講座等の受講者数及びシニアカレッジ、コミセン高齢者大学の修了者数を集計			4,307	4,795	4,800
		平成28年度	人	4,800			
指標で表せない成果							
市民企画型講座では、市民が自ら学習して得た知識や技能を活用することで学びの循環が生まれるとともに、生涯学習を始めるきっかけとなっている。また、シニアカレッジの学生が、学習活動で学んだ知識を活かしコミセンや市内の小学校で「出前講座」をおこなうなど、個々の学びを多くの人に広げる活動を行っている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
					×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
・公平性の観点から、センター自主事業における受講料等の徴収について検討する。 ・3つの高齢者学習機会（コミセン高齢者大学、明石シニアカレッジ、あかねが丘学園）について、利用者のニーズや施設の老朽化等の状況を踏まえ、あり方を検討する。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	高齢者学習支援事業	新規/継続	新規事業	整理番号	0130002000 - 008	
		分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容			
	款	総務費				
	項	総務管理費				
	目	生涯学習センター費				
	事業	生涯学習推進事業				
施策分野	2 教育・文化分野	事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習センター			
	2-5 生涯学習の推進		連絡先	(078)918-5603		
個別計画	生涯学習ビジョン	自治/法定		自治事務	開始年度	平成 28 年度
		根拠法令・要綱等	明石市生涯学習センター条例、同法施行規則			
実施方法	直営		○	補助・助成		その他
	委託		指定管理			

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	高齢者（60歳以上の市民）が（仮称）生涯学習学びの記録帳を使用することで自身の学習の成果を振り返り、その後の学習活動に役立てる。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	（仮称）生涯学習学びの記録帳	（仮称）生涯学習学びの記録帳の配布数を成果指標とする。	平成28年度	枚	300

事業内容	【平成28年度】
	（仮称）生涯学習学びの記録帳を作成・配布し、個人の学習活動やボランティア活動等を記録し残すことで、活動の更なる励みに繋げる。また、市の主催する講座受講など学習活動の実績に応じて、認定印を押印し押印数に応じて特典を付与するような仕組みを検討する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	0	0	0	0	0	0	0	正規	0.01	アルバイト	0.00
27当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.01
27決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.00	合計	0.02
28当初予算	87	139	226	0	0	0	226				

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
					報償費	講師等謝礼	50
					役務費	ホールスタッフ人件費	37
	合計		0		合計		87

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-008	事務事業名	高齢者学習支援事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	(仮称)生涯学習学びの記録帳	(仮称)生涯学習学びの記録帳の配布数を成果指標とする。					300
		平成28年度	枚	300			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成28年度に試験運用を行い、平成29年度の本格実施に向け検討する。						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	あかねが丘学園運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130002000 - 009			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習センター			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5600		
	目	あかねが丘学園費		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 56 年度
	事業	あかねが丘学園運営事業						
施策分野	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進	根拠法令・要綱等	明石市立明石市立高齢者大学校あかねが丘学園要綱					
個別計画	生涯学習ビジョン		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
				委託		指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	明石市在住の60歳以上の高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者を養成できるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	入学者数	各年度の1学年の入学者数	28	人数	116
	ボランティア実施状況	あかねが丘学園のボランティアグループのボランティア実施回数(西分校を含む)	28	回数	1,000
事業内容	<p>あかねが丘学園は、3年間の系統立てた学習プログラムをもとに、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につけた地域社会活動指導者を養成する。</p> <p>【平成26年度】事業内容は、1学年の学習拠点を生涯学習センターに移し、同学年の専攻コースを5コースから4コースに再編して実施した。</p> <p>①本校 コース:2・3学年は、景観園芸・生活ふくし・ふるさとコミュニティ・音楽交流・健康スポーツ交流(各学年定員165人) 1学年は、景観園芸・健康ライフ・ふるさとコミュニティ・音楽交流(学年定員100人) 学生数:298人(1学年109人、2学年113人、3学年76人) 学習日:月曜 1学年・地域活動支援、火曜 クラブ活動、水曜 3学年、木曜 2学年</p> <p>②地域活動支援日は、卒業生と在校生の地域活動を支援するための学習日で、公開講座、各種講習・講座などの実施と地域活動グループへの施設設備の開放と、相談・助言を行なっている。 ・その他、学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。</p> <p>③学習スケジュール:授業は週1回、年間35日程度、午前と午後で共通講座(学年全体で受講)と専攻コース(各専攻コースで受講)に分かれて受講 主な年間スケジュール: 4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2~3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式</p> <p>④地域活動グループ数:94、地域活動実施回数:1103回</p> <p>【平成27年度】事業内容は、1・2学年を生涯学習センターで、3学年を松が丘本校で実施した。 コース:3学年は、26年度と同様。 1・2学年は、景観園芸・健康ライフ・ふるさとコミュニティ・音楽交流(学年定員100人) 学習日:月曜 1・2学年・地域活動支援、火曜 クラブ活動、水曜 3学年、木曜 地域活動支援 学生数:297人(1学年102人、2学年95人、3学年100人)</p> <p>【平成28年度】事業内容は、1・2・3の全学年を生涯学習センターで実施する。 コース:2・3学年は、景観園芸・健康ライフ・ふるさとコミュニティ・音楽交流(学年定員100人) 1学年は、景観園芸・健康ライフ・ふるさとコミュニティ・音楽交流・陶芸文化(学年定員116人) 学習日:月曜 1・2・3学年・地域活動支援、火曜 地域活動支援・クラブ活動、水曜~金曜 地域活動支援 学生数:287人(1学年102人、2学年79人、3学年83人)</p>				

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	14,634	14,000	28,634	0	0	4,966	23,668	正規	0.54	アルバイト	0.00
27当初予算	20,700	17,690	38,390	0	0	5,217	33,173	再任用	0.00	その他	2.14
27決算	12,243	17,690	29,933	0	0	5,631	24,302	任期付	2.48	合計	5.16
28当初予算	18,794	19,424	38,218	0	0	5,127	33,091				

区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
旅費	市内出張旅費	67		需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	3,392
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	1,960		役務費	通信運搬費、ホール舞台人件費	1,198
役務費	通信運搬費、ホール舞台人件費	778		委託料	勤労福祉会館休館日利用管理委託	3,900
使用料及び賃借料	バス借上げ料、リソグラフ賃借料	504		備品購入費	プロジェクター、ロッカー、棚	900
備品購入費	ビニールハウス、ノートパソコン、物置、ロッカー	1,548		その他		904
合計		12,243		合計		18,794

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-009	事務事業名	あかねが丘学園運営事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	入学者数	各年度の1学年の入学者数			109	102	102
		28	人数	116			
	ボランティア実施状況	あかねが丘学園のボランティアグループのボランティア実施回数(西分校を含む)			1,103	903	1,000
		28	回数	1,000			
指標で表せない成果							
ボランティア活動の活動先は、高齢者施設、保育所、幼稚園、放課後児童クラブをはじめ市主催のイベント等多彩である。							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×	×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・専攻コースの設定やカリキュラムの見直し等、市民のニーズに応える魅力ある運営をしていく。 ・積極的に行っている広報活動を継続発展させていく。 ・平成28年度から西分校「健康スポーツ」を本校「健康ライフ」と統合し、同じく「陶芸文化」を本校のコースとして実施している。 ・平成28年度には移転が完了し、全学年が生涯学習センターで学習しているが、「景観園芸」は西明石の「花と緑の学習園」で、「陶芸文化」は従来どおり東二見の「陶芸室」でも授業を行っているため、学習日が週1日のところ2日になったり、学習場所が離れているため入学者の募集にも影響がでている。 ・今後、現在5コースある専攻コースの在り方についても検討していく。 						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130002000 - 010		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容				
	款	総務費					
	項	総務管理費					
	目	あかねが丘学園費					
	事業	あかねが丘学園維持管理事業					
施策分野	2 教育・文化分野		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習センター			
	2-5 生涯学習の推進		連絡先	(078)918-5600			
個別計画	生涯学習ビジョン		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 56 年度	
			根拠法令・要綱等				
実施方法			直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	旧あかねが丘学園の施設、設備を、市民が安全・快適に使用できるように維持管理する。 敷地内にあるコミセン等を市民が安全・快適に利用できるよう、また職員が効果的に執務できるよう施設・設備の状態を良好に保つ。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	①施設・設備の保守・点検・修理 ②電気・水道・ガス施設点検、樹木剪定 ③清掃 高架水槽定期清掃、屋内・屋外清掃委託 ④警備 機械警備委託
-------------	---

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	10,405	8,760	19,165	0	0	0	19,165	正規	0.20	アルバイト	0.00
27当初予算	12,189	10,000	22,189	0	0	0	22,189	再任用	0.00	その他	0.10
27決算	11,126	10,000	21,126	0	0	0	21,126	任期付	0.10	合計	0.40
28当初予算	5,857	2,460	8,317	0	0	0	8,317				

27年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	需用費	施設設備補修費、光熱水費（電気料金、ガス料金、水道料金）	7,847		4,500		
役務費	簡易専用水道検査手数料	16	19				
委託料	設備関係保守点検費用、PCB廃棄物処理費用	3,263	1,317				
負担金補助及び交付金	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	0	21				
合計			11,126	合計			5,857

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-010	事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
指標で表せない成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・日常及び定期など計画的な点検等で不具合が見つかった場合や修繕箇所が発生した場合、できるだけ速やかに対応するようにしている。 							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・あかねが丘学園は、平成28年4月1日から生涯学習センターに全面移転して南館、体育館、グラウンド以外は通常使用していない。 ・朝霧コミセン、放課後児童クラブ事務局、地域交流センター等人の出入りがあるため、施設・設備を快適に使用できるよう維持管理することは不可欠である。 ・施設の老朽化は否めないが、施設・設備を適宜補修しているので概ね良好に維持されている。 ・北館、西館は、普段使用していないため経費は節減できている。 ・今後の施設・設備の維持管理については、跡地利用の進捗により決定する。 						

平成28年度 事務事業点検シート

事務事業名	あかねが丘学園西分校運営事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130002000 - 011			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習センター			
	項	総務管理費			連絡先	(078)918-5600		
	目	あかねが丘学園費		自治/法定		自治事務	開始年度	平成 21 年度
	事業	あかねが丘学園西分校運営事業						
施策分野	2 教育・文化分野		根拠法令・要綱等	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園要綱				
	2-5 生涯学習の推進			実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	生涯学習ビジョン		委託			指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	明石市在住の60歳以上の高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者を養成できるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値

事業内容	<p>あかねが丘学園西分校は、2年間の系統立てた学習プログラムをもとに、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につけた地域社会活動指導者を養成する。</p> <p>【平成26年度】</p> <p>①分校 コース：健康科学・陶芸文化(各学年定員51人) 学生数：45人(1学年25人、2学年20人) 学習日：水曜 1学年、金曜 2学年</p> <p>②学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学习・自主活動グループなど活動している。</p> <p>③学習スケジュール：授業は週1回、年間35日程度、午前：共通講座(学年全体で受講)、午後：専攻コース(各専攻コースで受講) 主な年間スケジュール：4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2～3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式</p> <p>【平成27年度】</p> <p>・事業内容は、1学年の専攻コースの名称を「健康科学」から「健康スポーツ」に変更し、それ以外は26年度と同様に実施した。 学生数：39人(1学年26人、2学年13人)</p> <p>【平成28年度】</p> <p>・事業内容は、2学年のみ27年度と同様に実施する。 1学年は募集せず。(「健康スポーツ」は本校「健康ライフ」に統合し、「陶芸文化」は本校で募集する。) 学生数：23人(2学年のみ)</p>
-------------	--

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				28年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
26決算	7,667	5,540	13,207	0	0	675	12,532	正規	0.20	アルバイト	0.00
27当初予算	9,157	8,010	17,167	0	0	1,050	16,117	再任用	0.00	その他	1.70
27決算	3,551	8,010	11,561	0	0	585	10,976	任期付	0.40	合計	2.30
28当初予算	3,026	8,430	11,456	0	0	300	11,156				

27年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	28年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	2,211		2,211	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)
旅費	市内出張旅費	0	0	旅費	市内出張旅費	97	97
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	429	429	需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	745	745
役務費	通信運搬費	73	73	役務費	通信運搬費	80	80
委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室委託	350	350	委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室委託	350	350
使用料及び賃借料	コピー使用料	488	488	使用料及び賃借料	コピー使用料	143	143
	合計		3,551		合計		3,026

平成28年度 事務事業点検シート

整理番号	0130002000-011	事務事業名	あかねが丘学園西分校運営事業
------	----------------	-------	----------------

事業 の 成 果	指標名	考え方・定義・式			26年度	27年度	28年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	入学者数	各年度の1学年の入学者数			25	26	—
			人数				
指標で表せない成果							
<ul style="list-style-type: none"> ・本校が市東部にあるため、西部地区の市民ニーズに対応している。 ・地域により密着したボランティア活動を展開している。 							

事業 の 評 価 ・ 今 後 の 方 向 性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
			×	×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> ・入学者数が、定員に満たない（「健康スポーツコース」）ため平成28年度の学生の募集については実施しない。 ・「健康スポーツコース」は、本校の「健康ライフコース」と統合し、「陶芸文化コース」は、本校のコースとして実施する。 						